

bizhub PRO / 1100

すぐに使える かんたん操作ガイド

まずはこれ!

- 1 お使いの前に
- 2 まずは印刷してみましょう
- 3 ソフトウェアのインストール
- 4 基本的な操作
- 5 仕上り品質を保つために
- 6 こんなときは
- 7 付録

ごあいさつ

このたびは弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

このすぐに使える かんたん操作ガイドは、本機の基本的な操作方法、メンテナンス方法、トラブルの対処方法などを記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただるために、お役立てください。

また、このマニュアルはいつでも見られる場所に大切に保管してください。

本文中の表記と記号

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

参考

トピックを補足する情報や、機能を使うために必要なオプションについて説明しています。

参照

トピックに関連した機能を参照できます。

その他の表記や記号は、以下のような意味になります。

本文中の表記	説明
[]	タッチパネルのキー名称、コンピューター画面上のキー名称などを表します。
太字	操作パネルのキー名称、部品名称、製品名称、オプション名称、ユーザーズガイド名称などを表します。
✓	手順の前提となる条件を説明しています。

本機の使用目的について

使用目的

本機は、次の目的のためのデジタル印刷システムとして使用されるよう設計されています。

- 文書の印刷、コピー、スキャン
- 両面印刷、ステープル、パンチ、折り、小冊子作成のような仕上げ機能の使用（対応するオプションが装着されている場合）
- 本機のHDDに保存した文書データの再印刷

本機をお使いの際は、次の事項を順守してください。

- 本体やオプションの仕様の範囲内で使用すること
- ユーザーズガイドに記載されている安全にお使いいただくためのすべての注意文を順守すること
- コピーまたは印刷の禁止事項を順守すること（詳細は、冊子マニュアルの「安全にお使いいただくために」をごらんください）
- 点検およびメンテナンス指示を忠実に実行すること
- 国家、企業の安全規定および一般的な安全を厳守すること

許容できない操作条件

以下の場合、本機は動作しないことがあります。

- エラーまたはダメージが発見された場合
- メンテナンス間隔が超過している場合
- 機械的機能または電気的機能が正常にはたらかない場合

免責

本機が許容できない条件のもとで操作された場合、弊社はダメージについて一切の責任を負いません。

本機の使用者について

ユーザーズガイドは、本機の以下の使用者を対象としています。

- オペレーター：コニカミノルタまたは認定パートナーによる教育を受け、本機の使用目的に沿って使用したり、ユーザーズガイドに記載されている消耗品の管理、メンテナンス、トラブル時の対処をしたりする人。
- 管理者：コニカミノルタまたは認定パートナーによる教育を受け、消耗品の管理やシステム設定をしたり、ネットワーク環境やセキュリティーシステムを構築したりする人。

本機を使用するすべての人は、関連したユーザーズガイドを読み、内容を理解してください。

マニュアルの構成と使い方

本機のユーザーズガイドは、次の冊子マニュアルとユーザーズガイド CD で構成されています。

詳しい機能や操作方法をお知りになりたいときは、ユーザーズガイド CD に収められている HTML ユーザーズガイドをごらんください。

HTML ユーザーズガイドの活用方法については、本書の 7.1 「HTML ユーザーズガイドの上手な使い方」をごらんください。

冊子マニュアルの名称	概要
すぐに使える かんたん操作ガイド (本書)	機械の基本操作や、プリンタードライバーとアプリケーションのインストール方法、消耗品の交換方法などを記載しています。
安全にお使いいただくために	機械を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品をお使いの前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 内の マニュアルの名称	概要
HTML ユーザーズガイド	本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、メンテナンス方法、簡単なトラブルの対処方法、その他さまざまな設定方法について説明しています。

メンテナンスやトラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。メンテナンスやトラブルの対処は、本書および本機に付属しているユーザーズガイド CD に収められている HTML ユーザーズガイドで説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービス実施店にご連絡ください。

HTML ユーザーズガイド動作環境

▶ 対応 OS/ ブラウザー

本マニュアルは、下記の OS およびブラウザーの環境にて動作検証をしています。

OS	ブラウザー
Windows Vista (SP2)	Internet Explorer 9.x
Windows 7 (SP1)/Windows 8	Internet Explorer 10.x Firefox 38.x
Windows 8.1	Internet Explorer 11.x Firefox 38.x
Mac OS X 10.7/10.8	Safari 6.x
Mac OS X 10.9	Safari 7.x
Mac OS X 10.10	Safari 8.x

参考

- お使いのブラウザーの [JavaScript] が、有効になっていることを確認してください。HTML ユーザーズガイドは、画面表示や検索機能で [JavaScript] を使用しています。
- お使いのシステム環境によっては、所定の機能が正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 最新のブラウザーを使用することで、問題を解決できる場合があります。

▶ ディスプレー解像度

1,024 × 768 ピクセル以上

HTML ユーザーズガイドトップページの表示のしかた

▶ Windows をお使いの場合

コンピューターの CD-ROM ドライブにユーザーズガイド CD を入れると、自動再生に関するメッセージが表示されます。[rundll32.exe の実行] をクリックすると、トップページが表示されます。

トップページが表示されない場合は、[コンピューター] から [Users_Guide_CD] アイコンを右クリックしてから、[開く] をクリックします。フォルダー内の [index.html] をダブルクリックすると、トップページが開きます。

[コンピューター] を開くには、以下の操作を行います。

- Windows 8.1 の場合：スタート画面で  をクリックし、[PC] をクリックします。
- Windows 8 の場合：スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コンピューター] をクリックします。
- Windows Vista/7 の場合：[スタート] メニューから、[コンピューター] をクリックします。

▶ Macintosh をお使いの場合

デスクトップ上の CD アイコンを開き、[index.html] をダブルクリックすると、トップページが表示されます。

重要

Mac OS X 10.7 以降では、ユーザーズガイド CD を入れてもデスクトップ上に CD アイコンが表示されない可能性があります。その場合、デスクトップに表示する設定が無効になっている可能性がありますので、Finder の「環境設定」でデスクトップに表示する設定が無効になっていないか確認してください。

本書での表記について

本書では、製品名やシステム構成などを以下のように表記しています。

製品名	本書の表記
bizhub PRO 1100	本機：オプションや機能を含めたシステム全体を示します。 本体：本機において、印刷機能を受け持つメインユニットを示します。 機械：構造や機構に関わる機械的な部分を示します。
Microsoft Windows	Windows

オプションについては、特に区別のない限り、以下のように型番を併記せずに説明しています。

製品名	本書の表記
フィニッシャー FS-532	フィニッシャー
中とじ機 SD-510	中とじ機

その他のオプションも同様です。

本機の情報をメモしておきましょう

装着オプションの確認

装着しているオプションを把握しておきましょう。

タッチパネルの【機械状態】画面で、装着しているオプションの一部を確認できます。



オプション名称にある□にチェックをつけておくと、オプションの管理に便利です。

排紙系オプション	
<input type="checkbox"/> フィニッシャー FS-532	<input type="checkbox"/> パンチユニット PK-522
<input type="checkbox"/> Z折りユニット ZU-608	<input type="checkbox"/> 排紙トレイ OT-507
<input type="checkbox"/> 中とじ機 SD-510	

給紙系オプション	
<input type="checkbox"/> ペーパーフィーダーユニット PF-709	<input type="checkbox"/> マルチ手差し給紙ユニット MB-507
<input type="checkbox"/> 大容量給紙ユニット LU-411	<input type="checkbox"/> ポストインサーター PI-502
<input type="checkbox"/> 大容量給紙ユニット LU-412	

電子系オプション	
<input type="checkbox"/> ハードディスクインナーケースキット HD-523	<input type="checkbox"/> 認証装置 AU-201
<input type="checkbox"/> リムーバブルハードディスクキット RH-101	<input type="checkbox"/> 認証装置 AU-201S
<input type="checkbox"/> 状態表示ライト MK-744	

ネットワーク情報の確認

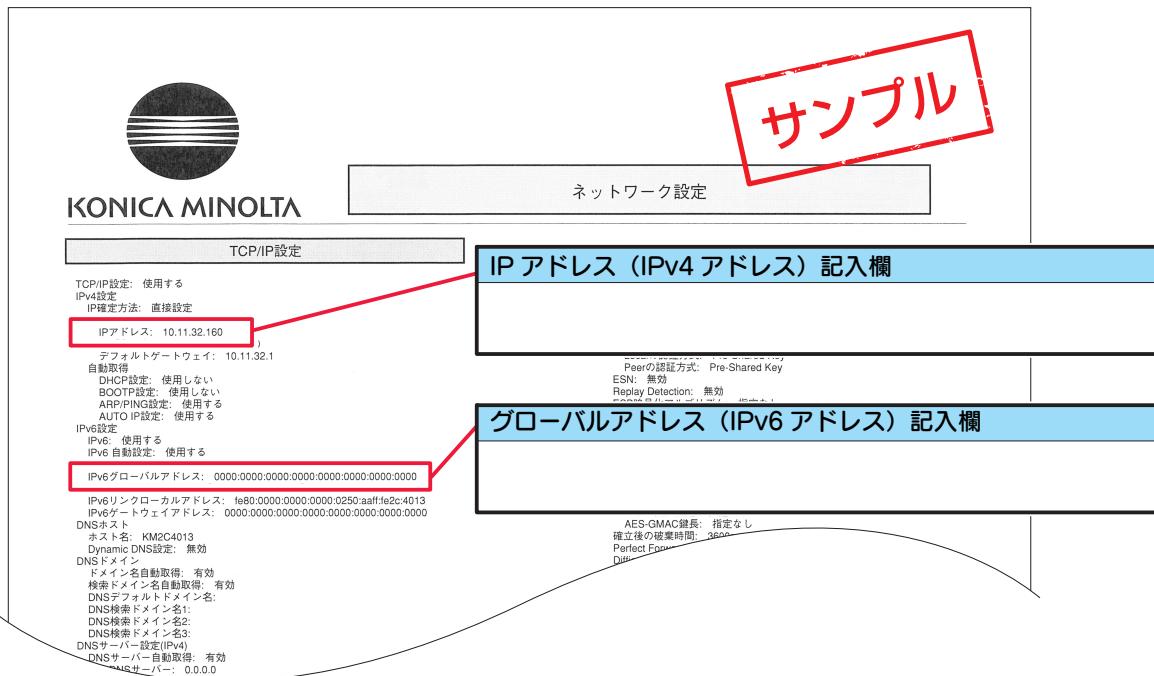
プリンター機能や各種アプリケーションなど、本機の機能をお使いになるうえで必要なネットワークの情報をメモしておきましょう。

ネットワークの情報は、設定情報リストを出力することで確認できます。

▶ 設定情報リストの出力方法

- 1** タッチパネルの【機械状態】画面で、【コントローラー設定】 - 【レポートタイプ】 - 【ネットワーク設定】を選択してから、【実行】を押します。

お使いの環境に応じて、設定情報リストに印字されているIPアドレスを記入欄にメモしてください。



参考

- 必要に応じて、そのほかのネットワーク情報も下の表にメモしておきましょう。
- ネットワークの情報を確認するには、管理者権限が必要な場合があります。本機の管理者にお問い合わせください。

重要

メモする内容によっては、機密情報を含む場合があります。本書の管理には十分に注意してください。

特に、パスワードなどを記入しないでください。

項目	記入欄
(例) JSP ポートナンバー	(例) 30081

もくじ

本機の使用目的について	x-i
使用目的	x-i
許容できない操作条件	x-i
免責	x-i
本機の使用者について	x-i
マニュアルの構成と使い方	x-ii
HTML ユーザーズガイド動作環境	x-iii
対応 OS/ ブラウザー	x-iii
ディスプレー解像度	x-iii
HTML ユーザーズガイドトップページの表示のしかた	x-iii
Windows をお使いの場合	x-iii
Macintosh をお使いの場合	x-iii
本書での表記について	x-iv
本機の情報をメモしておきましょう	x-v
装着オプションの確認	x-v
ネットワーク情報の確認	x-vi
設定情報リストの出力方法	x-vi
もくじ	x-vii

1 お使いの前に

1.1 電源の ON/OFF	1-1
電源について	1-1
電源を入れる	1-1
電源を切る	1-2
節電機能	1-3
1.2 本機でできること	1-5
本機の主な機能	1-5
プリント機能	1-5
コピー機能	1-5
スキャン機能	1-6
HDD による印刷ジョブの一時保存機能	1-6
デバイス管理機能 (PageScope Web Connection)	1-6
アプリケーションの機能	1-7
トーンカーブ調整機能 (Color Centro)	1-7
ジョブ管理機能 (Job Centro)	1-7
その他のアプリケーション	1-7

2 まずは印刷してみましょう

2.1 印刷の流れ	2-1
Step 1 : プリンタードライバーとアプリケーションの準備	2-1
Step 2 : トレイに用紙をセットする	2-1
Step 3 : トレイにセットした用紙の情報を本機に設定する	2-1
Step 4 : プリンタードライバーを操作して印刷を行う	2-2
Step 5 : 仕上りを確認する	2-3

3 ソフトウェアのインストール

3.1 プリンタードライバーのインストール	3-1
動作環境	3-1
Windows をお使いの場合	3-1
Macintosh をお使いの場合	3-1
プリンタードライバーの特長	3-2

Windows をお使いの場合	3-2
インストールする	3-2
初期設定	3-4
Macintosh をお使いの場合	3-5
インストールする	3-5
初期設定	3-8
3.2 アプリケーションのインストール	3-9
動作環境	3-9
Color Centro	3-9
Job Centro	3-9
Color Centro のセットアップ	3-10
機能概要	3-10
インストールする	3-11
起動する	3-12
Job Centro のセットアップ	3-13
機能概要	3-13
インストールする	3-14
起動する	3-15
4 基本的な操作	
4.1 用紙のセット	4-1
本体トレイにセットする	4-1
ペーパーフィーダーユニット PF-709 にセットする	4-3
4.2 用紙設定	4-6
トレイに用紙情報を設定する	4-6
4.3 プリンタードライバーの設定	4-12
プリンタードライバーの機能	4-12
[スクリーニング]：固定スクリーン選択	4-12
[スクリーニング]：カスタムスクリーン設定	4-13
[トーンカーブ]：トーンカーブ設定	4-14
5 仕上り品質を保つために	
5.1 表裏調整	5-1
表裏調整について	5-1
調整の流れ	5-1
トレイごとに表裏調整を行う	5-2
スキャン測定調整	5-2
表裏差調整	5-11
チャート調整	5-16
倍率・イメージシフト調整	5-23
5.2 画質の調整	5-26
画質の調整について	5-26
Color Centro でトーンカーブを調整する	5-27
5.3 フィニッシャーの調整	5-29
調整する画面を開く	5-29
調整できる内容	5-30
6 こんなときは	
6.1 消耗品の補給と交換	6-1
トナー ボトルを交換する	6-1
ステープル針を補給する	6-3
廃棄トナー ボックスを交換する	6-5

6.2	紙づまり (JAM) の処理.....	6-7
	アニメーションガイドの見かた.....	6-7
	[JAM 位置] 画面.....	6-7
	JAM 処理説明画面.....	6-8
6.3	指定した用紙がない場合	6-10
	指定したサイズの用紙に入替える	6-10
	セットされている用紙で強制印刷する	6-12
6.4	スキャンデータを送信できない.....	6-13
6.5	グレーのトーンが合わない場合.....	6-14
	プリンタードライバーで設定する	6-14
	Color Centro でトーンカーブを調整する	6-14
6.6	画像位置が合わない場合	6-15
6.7	管理者パスワードを忘れたときは	6-15

7 付録

7.1	HTML ユーザーズガイドの上手な使い方	7-1
	(1) 検索機能を使いこなそう !	7-1
	(2) 目的の仕上りに必要な設定は、操作例で確認 !	7-1
7.2	各部の名称.....	7-2
	本体外部	7-2
	本体内部	7-4
	操作パネル	7-6
7.3	スキャン機能の便利な使い方 (Scan to SMB)	7-8
	Step 1 : 送信先のコンピューターを準備する	7-8
	Windows をお使いの場合	7-8
	Macintosh をお使いの場合	7-10
	Step 2 : 本機をネットワークに接続する	7-10
	Step 3 : SMB 送信の使用環境を準備する	7-10
	Step 4 : お使いの環境に合わせて設定する	7-10
	Step 5 : スキャンデータを共有フォルダーに送信する	7-11
7.4	主な仕様	7-12
	本体	7-12
	ADF (自動両面原稿送り装置)	7-12
	給紙系オプション	7-13
	ペーパーフィーダーユニット PF-709	7-13
	大容量給紙ユニット LU-411	7-14
	大容量給紙ユニット LU-412	7-14
	マルチ手差し給紙ユニット MB-507	7-15
	ポストインシーター PI-502	7-16
	排紙系オプション	7-17
	フィニッシャー FS-532	7-17
	Z 折りユニット ZU-608	7-20
	電子系オプション	7-21
	リムーバブルハードディスクキット RH-101	7-21
	ハードディスクインナーケースキット HD-523	7-21
	認証装置 AU-201	7-21
	認証装置 AU-201S	7-21
7.5	サイズ別斤量	7-22
	サイズ別斤量	7-22
7.6	最大用紙サイズと印字領域	7-23

1 お使いの前に

1.1 電源の ON/OFF

▶ 電源について

本機には、主電源スイッチと副電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。

Q 重要

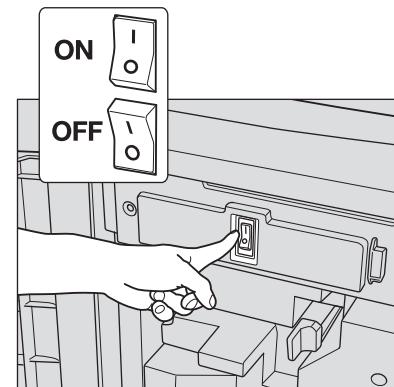
主電源スイッチは、通常、ONの状態にしたまま使います。

主電源スイッチの ON/OFF は、本機をはじめて起動するときや、再起動するときだけ行ってください。

▶ 電源を入れる

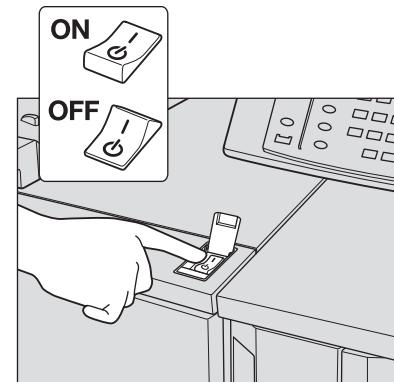
- 1** 本体の前扉を開いてから左扉を開き、主電源スイッチを ON にします。

主電源スイッチを ON になると、操作パネルの電源ランプがオレンジ色に点灯します。



- 2** 本体の右上にある副電源スイッチを ON にします。

副電源スイッチを ON になると、操作パネルの電源ランプが青色に点灯します。



起動画面が表示されたあとに、デフォルト画面が表示されます。

デフォルト画面は、設定メニュー / カウンターから選択できます。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

【機械状態】画面に【プリントできます】と表示されたら、本機をご使用いただけます。





【機械状態】画面に【ウォームアップしています】と表示されているときは、本機をウォームアップしている状態です。ウォームアップは、最大で約 6 分 30 秒かかります。

▶ 電源を切る

1 副電源スイッチを OFF にします。

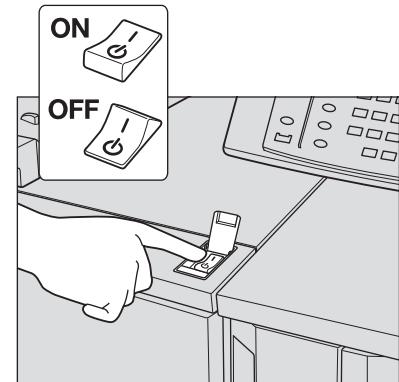
タッチパネルの表示が消えて、操作パネルの電源ランプが青色からオレンジ色に変わります。



次のメッセージが表示されている間は、主電源スイッチを OFF にしないでください。機械の中でトナーが固着するなどのトラブルが発生するおそれがあります。

[冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます]

[電源 OFF 処理中です 主電源を切らないで下さい]

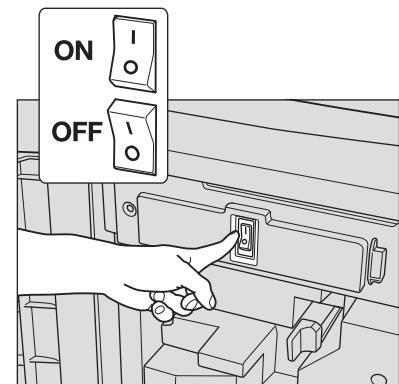


2 主電源スイッチを OFF にします。

- 主電源スイッチは、本体内部にあります。
- 本体の前扉を開いてから、左扉を開きます。



主電源スイッチを OFF にしてからすぐに ON にする場合は、必ず 10 秒以上経過してから ON にしてください。10 秒以内に主電源スイッチを ON にすると、正常に動作しないことがあります。



▶ 節電機能

次の機能を使うことで、本機の消費電力を抑えることができるので、高い節電効果を得ることができます。

機能	説明
パワーセーブ機能	<p>オートローパワー</p> <p>タッチパネルの表示を消して、本機の消費電力を節約します。以下の条件でオートローパワーとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷可能な状態のときに、印刷しないで一定の時間が経過した場合 操作パネルのパワーセーブを 1 秒以上押した場合 <p>設定メニュー / カウンターの [管理者設定] - [環境設定] - [パワーセーブ設定] - [パワーセーブ機能設定] で [オートローパワー] が選択されているときに有効になります。</p> <p>節電開始までの時間は、1 分、3 分、5 分、10 分、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分、240 分から選択できます。</p>
	<p>オートシャットオフ</p> <p>操作パネルのパワーセーブと電源以外、すべてのランプを消灯して、本機の消費電力を節約します。以下の条件でオートシャットオフとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷可能な状態のときに、印刷しないで一定の時間が経過した場合 操作パネルのパワーセーブを 1 秒以上押した場合 <p>長時間シャットオフ状態が続くと、再開時のウォームアップに時間がかかる場合があります。</p> <p>設定メニュー / カウンターの [管理者設定] - [環境設定] - [パワーセーブ設定] - [パワーセーブ機能設定] で [オートシャットオフ] が選択されているときに有効になります。</p> <p>節電開始までの時間は、1 分、3 分、5 分、10 分、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分、240 分から選択できます。</p>
オートウェイクアップ条件	<p>シャットオフ状態でプリントジョブを受信したとき、自動的にシャットオフモードを解除して印刷を開始する条件を設定します。</p> <p>[全てのジョブ] を押してボタンを反転させると、オートシャットオフ中でも自動的にシャットオフモードが解除されて、すべてのプリントジョブを出力できます。</p> <p>ボタンの反転表示を解除すると、オートシャットオフ中は [PS Plug-in ドライバー] または [PageScope Direct Print] からのプリントジョブを受信したときのみ、自動的にシャットオフモードが解除されて、出力できます。その他のジョブは、シャットオフモードを解除してから本機を使用してください。</p>
ErP 設定	<p>オートローパワー、オートシャットオフ、または副電源スイッチが OFF の状態で一定時間経過すると、主電源が OFF になります。</p> <p>節電開始までの時間は、移行しない、12 時間、24 時間、36 時間、48 時間、60 時間、72 時間から選択できます。</p> <p>Wi-Fi クリータイマーを [使用する] にしている場合は、[ErP 設定] がグレー表示になり設定できません。</p>
主電源自動 OFF 設定	副電源スイッチを OFF にしたとき、本体の冷却が完了すると、主電源を自動的に OFF にできます。
Wi-Fi クリータイマー	設定した曜日や時間に従って、自動で本機の電源を ON/OFF できます。

参考

- 設定メニュー / カウンターの [管理者設定] - [環境設定] - [パワーセーブ設定] - [パワーセーブ機能設定] と、設定メニュー / カウンターの [ユーザー設定] - [環境設定] - [パワーセーブ設定] - [パワーセーブ機能設定] は同じ機能ですので、どちらかで設定してください。
- 操作パネルのパワーセーブを 1 秒以上押した場合、設定によりオートローパワー、オートシャットオフのどちらか一方が有効になります。どちらの機能を有効にするかは、[管理者設定] - [環境設定] - [パワーセーブ設定] - [パワーセーブ機能設定] で設定します。

 参照

これらの機能の設定方法や詳しい使い方については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

管理者パスワードの初期値は 6-15 ページをごらんください。

 重要

キークリータイマーが作動して本機が OFF 状態のときは、ジョブデータを送っても受付けません。本機が通常に使用できる状態のときに、再度ジョブデータを送ってください。

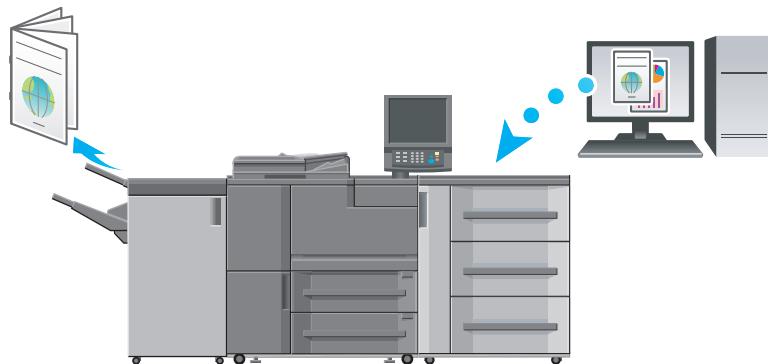
1.2 本機でできること

本機の主な機能

▶ プリント機能

お使いのコンピューターにインストールされているアプリケーションソフトウェアから、プリンタードライバーを経由して本機で印刷ができます。

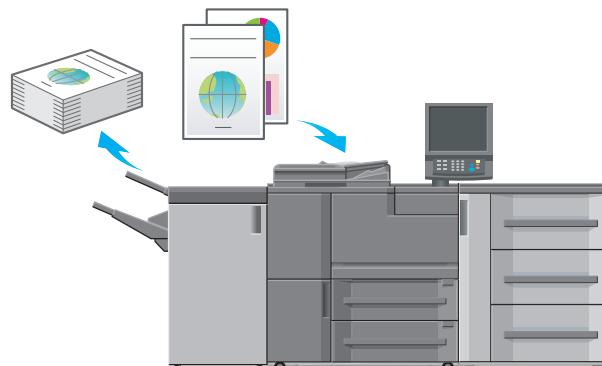
印刷時には、かんたんな操作でレイアウト設定や仕上り設定などを指定できます。



▶ コピー機能

原稿の読み込み設定、用紙サイズ指定、仕上り設定といった条件を設定して、コピーができます。

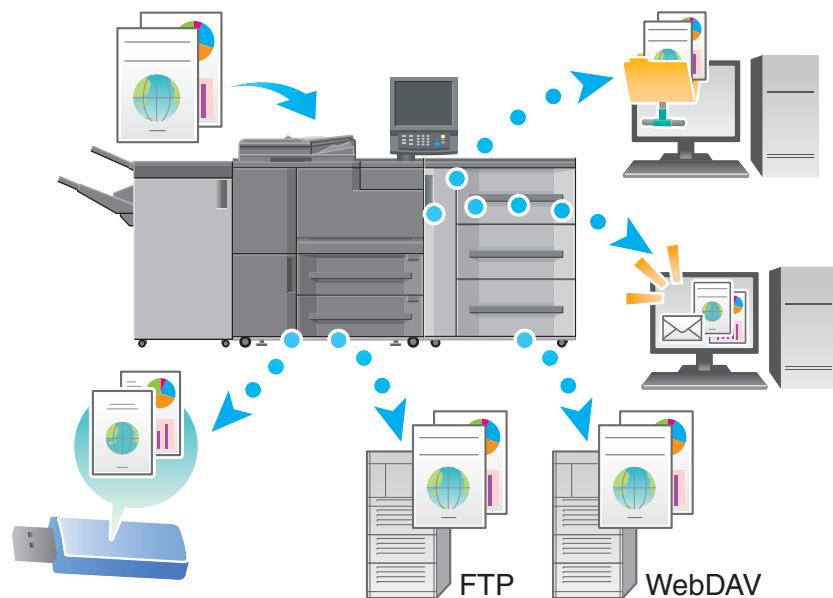
ADFを利用することにより、短時間でより多くの原稿を読み込むことができます。



▶スキャン機能

スキャンデータを E-mail に添付して送信したり、共有のコンピューター（SMB サーバー）や FTP サーバー、WebDAV サーバーに送信したり、本機に装着した USB メモリーに保存したりできます。

また、ネットワーク上のコンピューターからスキャン操作の指示を行うことで、スキャンデータをコンピューターに取込むこともできます。



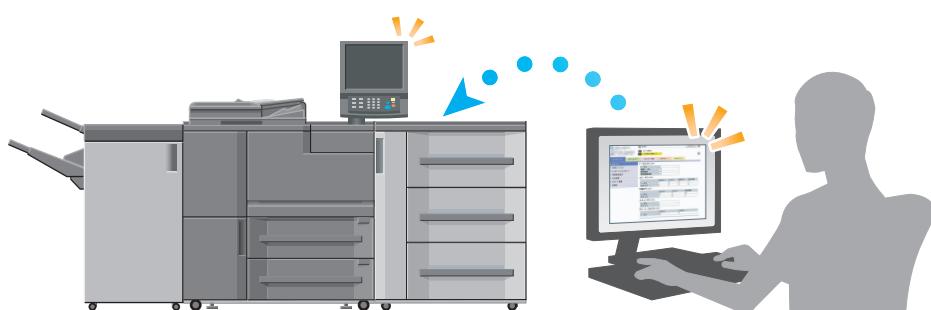
▶HDD による印刷ジョブの一時保存機能

印刷やコピーしたジョブを一時的に保存しておくことで、ジョブリストから再印刷したり、本機の HDD に保存したりできます。

▶デバイス管理機能 (PageScope Web Connection)

PageScope Web Connection は、本体内蔵の HTTP サーバーが提供するデバイス管理用のユーティリティープログラムです。

コンピューターの Web ブラウザーを使い、ネットワーク経由で本機にアクセスすると、PageScope Web Connection から遠隔操作として、本機の状態の確認や各種設定ができます。



アプリケーションの機能

▶ トーンカーブ調整機能 (Color Centro)

Color Centro は、カラー管理をコンピューター上で効率的に行うためのアプリケーションです。

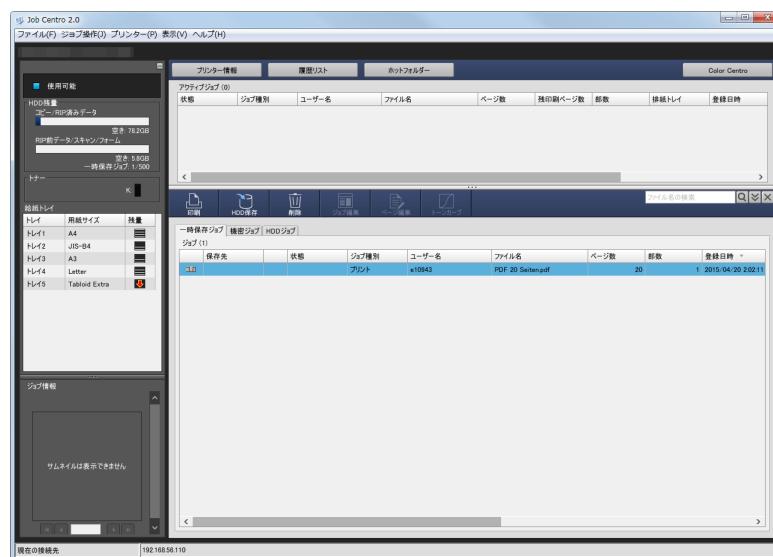
適正な印刷を実現するために、トーンカーブを調整したり設定したりできます。



▶ ジョブ管理機能 (Job Centro)

Job Centro は、本機内のジョブ管理を行うためのアプリケーションです。

プリントジョブやコピージョブ、あるいはスキャンジョブのモニタリング、および本機上に一時保存したジョブの操作と編集、ページの編集を行うことができます。また、本機の状態、消耗品情報、トレイ情報などの装置情報を取得して、コンピューターから本機の状態を確認することもできます。



▶ その他のアプリケーション

この他に本機やユーザーを管理できる各種 PageScope アプリケーションがあります。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

2 まずは印刷してみましょう

ここでは、本機を使った印刷の基本ワークフローをご紹介します。

はじめにデータを印刷する基本の流れを確認してから、用途に合わせて詳細な設定や調整を加えていきましょう。

参考

本機の応用設定や調整方法については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

2.1 印刷の流れ

次の流れに沿って、まずはお手元の原稿データが印刷されることを確認してみましょう。

各手順の参照ページ先に、詳しい操作や設定方法の説明があります。

参考

本機に付属しているユーザーズガイド CD には、印刷用のサンプル PDF データが収録されています。原稿データがご利用できないときには、是非ご活用ください。

Step 1：プリンタードライバーとアプリケーションの準備

お使いのコンピューターにプリンタードライバーとアプリケーションをインストールします。

インストール後、オプションの機能を利用できるよう、装着している装置情報をプリンタードライバーで設定してください。

詳しくは、次のページをごらんください。

- プリンタードライバーのインストール：3-1 ページ
- アプリケーションのインストール：3-9 ページ

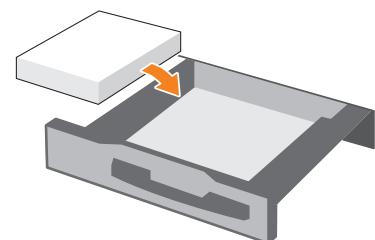


Step 2：トレイに用紙をセットする

本体トレイ、またはオプションの給紙トレイに用紙をセットします。

詳しくは、次のページをごらんください。

- 本体トレイにセットする：4-1 ページ
- ペーパーフィーダーユニットにセットする：4-3 ページ



2

Step 3：トレイにセットした用紙の情報を本機に設定する

用紙の種類、サイズ、坪量などを設定します。

詳しくは、4-6 ページをごらんください。

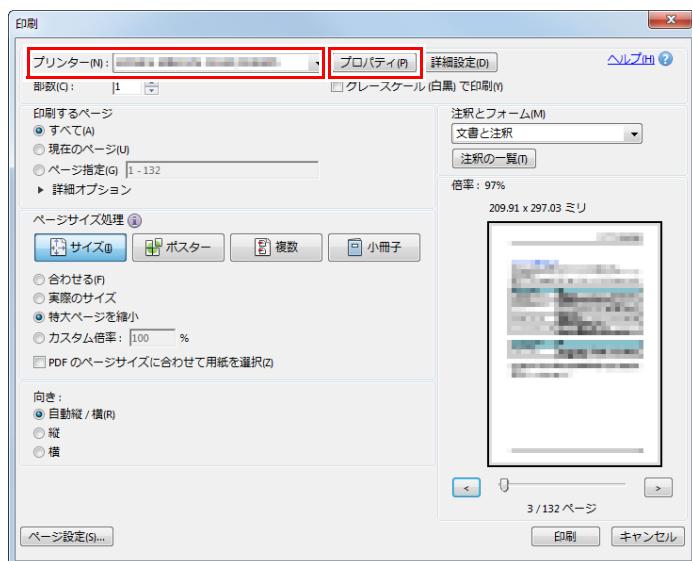


Step 4 : プリンタードライバーを操作して印刷を行う

お使いのコンピューターから原稿データを印刷します。

- ✓ 原稿データのアプリケーション環境を事前にご確認ください。本書では、例として Windows 7 環境で Adobe Reader XI から PS Plug-in ドライバーを利用して印刷する方法を紹介しています。

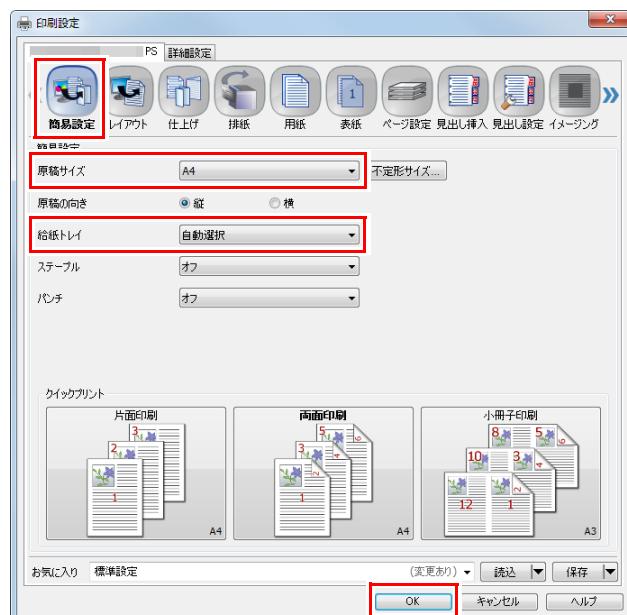
- 1 アプリケーションソフトウェアのファイルメニューなどから [印刷] をクリックして、印刷ウィンドウを表示させます。
- 2 [プリンター] からインストールしたプリンタードライバーを選択してから、[プロパティ] をクリックします。



- 3 プリンタードライバーの設定画面で [簡易設定] タブをクリックして、[原稿サイズ] から原稿データの用紙サイズを選択します。

設定を確認したら、[OK] をクリックします。

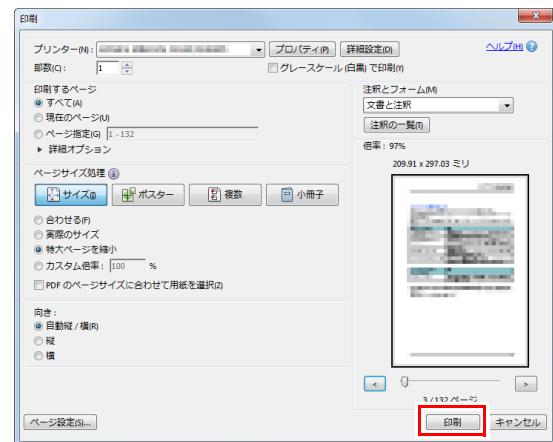
- [給紙トレイ] で印刷する用紙のトレイを選択できます。
- プリンタードライバーのその他の機能については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。



4 [印刷] をクリックします。

原稿データが印刷され、本機の排紙トレイに排出されます。

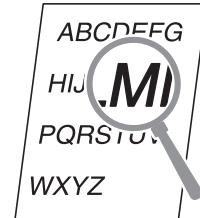
- 印刷のジョブを本機のHDDに保存しておくことができます。
HDDにジョブを保存をしておけば、次の印刷時に再設定することなく印刷できるため、単純増刷などのフローで有効です。
HDDの保存先によって設定・調整できる項目が異なります。詳しくは、HTMLユーザーズガイドをごらんください。
- 用紙サイズを間違えて印刷してしまったときの対処法は、6-10ページをごらんください。



Step 5：仕上りを確認する

画質の再現性、印刷位置のズレ、折りやステープルの位置などを、印刷後に確認します。

仕上り時のチェックポイントや調整方法については、HTMLユーザーズガイドをごらんください。



3 ソフトウェアのインストール

3.1 プリンタードライバーのインストール

動作環境

▶Windows をお使いの場合

項目	仕様
OS	Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、 Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、 Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションに対して、メモリーの空き容量が十分であること
ドライブ	CD もしくは DVD ドライブ

▶Macintosh をお使いの場合

項目	仕様
OS	Mac OS X 10.6/10.7/10.8/10.9/10.10
CPU	Intel プロセッサー
メモリー	OS が推奨するメモリー容量
ドライブ	CD もしくは DVD ドライブ

プリンタードライバーの特長

インストールできるプリンタードライバーには、次の種類があります。

プリンタードライバー	ページ記述言語	説明
PS Plug-in ドライバー	PostScript 3	高い印刷品質と充実の機能を持つ、推奨のドライバーです。Adobe 製アプリケーションからの印刷の際に、特にお勧めします。Mac OS にも対応しています。
PPD ドライバー	PostScript 3	PPD ドライバーを使用して印刷データを作成できるアプリケーションをお使いの場合に、ご利用ください。Mac OS 用はありません。(Windows 用のみ)
PCL ドライバー	PCL6	オフィス向け MFP 用のものと同じ操作性のドライバーです。PS Plug-In ドライバーで正しく印刷できない場合にもご利用ください。Mac OS 用はありません。(Windows 用のみ)

Windows をお使いの場合

▶ インストールする

付属の Driver CD からインストーラーを起動して、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

本書では、例として Windows 7 環境に PS Plug-in ドライバーをインストールする方法を説明します。

- ✓ 他のプリンタードライバーをインストールする方法については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
- ✓ あらかじめ、本機のネットワーク設定を行っておく必要があります。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 Driver CD をコンピューターの CD もしくは DVD ドライブに入れます。

インストーラーが起動しない場合は、Driver CD 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて、[AutoRun.exe] をダブルクリックして、手順 2 へ進みます。

2 [プリンターのインストール] を選択してから、[PS Plugin Driver] を選択します。

3 [JA] を選択します。

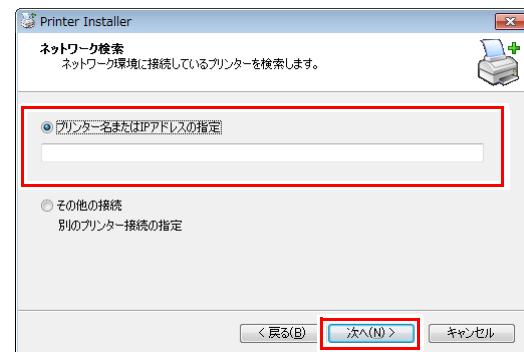
[ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

4 [次へ] をクリックします。



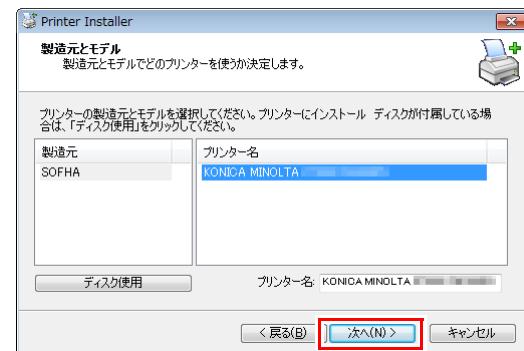
5 プリンター名またはIPアドレスを入力して、[次へ]をクリックします。

- プリンターはlprポートを使って作成されます。
- 別のプリンター接続(NetBIOSまたはport9100)を指定する場合は、[その他の接続]を選択します。詳しくは、HTMLユーザーズガイドをごらんください。



6 インストールするプリンター名を選択してから、[次へ]をクリックします。

インストールしたいプリンター名が表示されない場合は、[ディスク使用]をクリックして[Setup.inf]ファイルを直接指定してください。



7 [完了]をクリックします。

[Windowsセキュリティ]画面が表示される場合は、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックします。

続いて、プリンタードライバーの初期設定を行います。詳しくは、3-4ページをごらんください。



▶ 初期設定

本機のオプション情報が、プリンタードライバーに正しく設定されていることを確認します。

- ✓ 本機のオプション情報がプリンタードライバーに正しく反映されていない場合は、オプションの機能を利用できません。オプションを装着しているときは、必ず設定してください。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから【デバイスとプリンター】をクリックします。
- Windows 8/Server 2012 の場合は、スタート画面を右クリックして【すべてのアプリ】をクリックし、【コントロールパネル】 - 【ハードウェアとサウンド】 - 【デバイスとプリンター】をクリックします。
- Windows 8.1/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で  をクリックし、【コントロールパネル】 - 【ハードウェアとサウンド】 - 【デバイスとプリンター】をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、スタートメニューから【コントロールパネル】 - 【ハードウェアとサウンド】の【プリンタ】をクリックします。

2 【印刷設定】を開きます。

インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして【印刷設定】をクリックします。

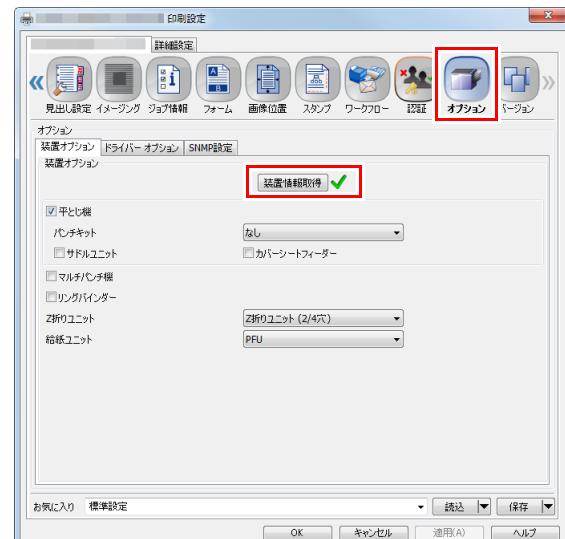


3 画面上部右側にある をクリックして、表示された【オプション】をクリックします。

【装置情報取得】右側に  が入っているか確認します。入っていない場合は【装置情報取得】をクリックして、装置オプション情報の取得を行ってください。



装置オプション情報を取得できない場合は、ネットワーク設定を確認してください。



4 [OK] をクリックします。

これで装置オプション情報の設定の完了です。

Macintosh をお使いの場合

▶ インストールする

付属の Driver CD から、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールして、プリンターを追加します。

本書では、例として Mac OS X 10.8 環境に PS Plug-in ドライバーをインストールして、Bonjour 接続のプリンターを追加する方法を説明します。

- ✓ その他の接続方法 (AppleTalk、LPR、IPP) でプリンターを追加する方法については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
- ✓ あらかじめ、本機のネットワーク設定を行っておく必要があります。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ アプリケーションは、すべて終了しておいてください。

1 Driver CD をコンピューターの CD もしくは DVD ドライブに入れます。

！ 重要

OS X 10.7 以降では、Driver CD を入れてもデスクトップ上に CD アイコンが表示されない可能性があります。その場合、デスクトップに表示する設定が無効になっている可能性がありますので、Finder の「環境設定」でデスクトップに表示する設定が無効になっていないか確認してください。

2 Driver CD 内の目的のプリンタードライバーが入っているフォルダーを開きます。

指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

3 機種名に対応した [bizhub PRO 1100PSxx.pkg] ファイルをデスクトップにコピーして、ダブルクリックします。

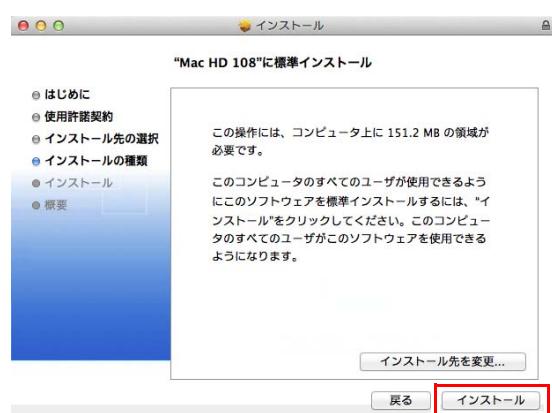
xx は OS のバージョンを示します。

インストーラーが起動します。

4 画面の指示に従って、[続ける] をクリックします。

[名前] と [パスワード] を入力する画面が表示されたら、コンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。

5 インストールの画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。



6 インストールが終わったら、[閉じる]をクリックします。

続いて、Bonjour 接続のプリンターをコンピューターに追加します。



7 アップルメニューの [システム環境設定] を選択し、[プリントとスキャン] アイコンをクリックします。

- OS X 10.6 の場合は [プリントとファクス] をクリックします。
- OS X 10.9/10.10 の場合は [プリントとスキャナ] をクリックします。

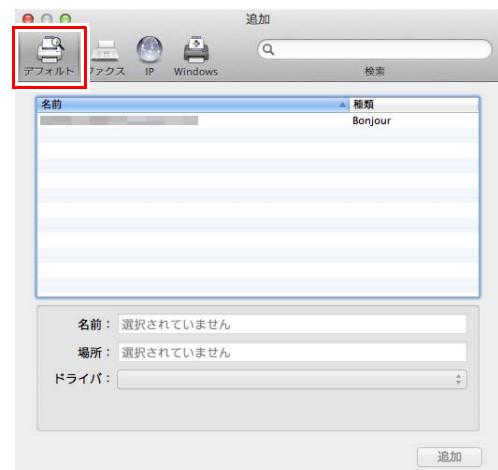
8 [+] をクリックします。

メニューが表示されるときは、[プリンタまたはスキャナを追加] を選択します。



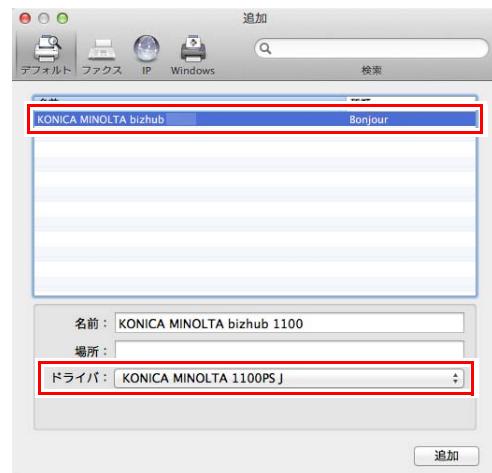
9 [デフォルト] をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。検出されない場合は、本機を再起動してください。



10 [名前] の一覧から、追加する Bonjour 接続のプリンターを指定します。

- プリンターを指定すると [ドライバ] の欄に、対応するプリンタードライバーが表示されます。正しく表示されない場合は、[プリンタソフトウェアを選択] を選択してから、[KONICA MINOLTA 1100PS J] を直接指定してください。
- 本機のプリンターナー名は、[管理者設定] - [ネットワーク設定] - [NIC 設定] - [Bonjour 設定] で確認できます。
管理者パスワードの初期値は 6-15 ページをごらんください。



11 [追加] をクリックします。

12 本機のオプション情報を設定して、[OK] または [続ける] をクリックします。

続いて、プリンタードライバーの初期設定を行います。詳しくは、3-8 ページをごらんください。



▶ 初期設定

本機のオプション情報が、プリンタードライバーに正しく設定されていることを確認します。

- ✓ 本機のオプション情報がプリンタードライバーに正しく設定されていない場合は、オプションの機能を利用できません。オプションを装着しているときは、必ず設定してください。

1 アプリケーションの印刷コマンドを選択して、[プリンタ] から該当するプリンタ名を選択します。

2 画面中のプルダウンリストから [bizhub PRO 1100PS] を選択して、[設定] をクリックします。

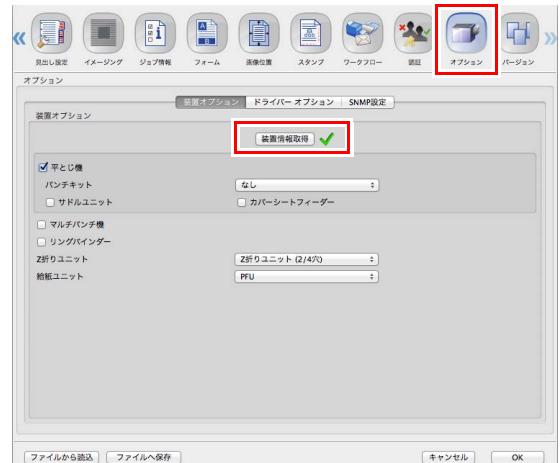


3 画面上部右側にある をクリックして、表示された [オプション] をクリックします。

[装置情報取得] 右側に が入っているか確認します。入っていない場合は [装置情報取得] をクリックして、装置オプション情報の取得を行ってください。

! 重要

装置オプション情報を取得できない場合は、ネットワーク設定を確認してください。



4 [OK] をクリックします。

これで装置オプション情報の設定の完了です。

3.2 アプリケーションのインストール

動作環境

▶Color Centro

項目	仕様
OS	Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2
CPU	Intel Core2 Duo 3GHz 以上
HDD	3GB 以上
メモリー	3GB 以上、または OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションに対して、メモリーの空き容量が十分であること
ディスプレー	1,024 × 768 Pixel 以上
ドライブ	CD-ROM ドライブ
ネットワーク環境	TCP/IP プロトコルの設定が正しく行われていること

▶Job Centro

項目	仕様
OS	Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2
CPU	Intel Core2 Duo 3GHz 以上
HDD	3GB 以上
メモリー	3GB 以上、または OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションに対して、メモリーの空き容量が十分であること
ディスプレー	1,024 × 768 Pixel 以上
ドライブ	CD-ROM ドライブ
ネットワーク環境	TCP/IP プロトコルの設定が正しく行われていること

Color Centro のセットアップ

▶ 機能概要

✓ カラーの管理

Color Centro は、カラー管理をコンピューター上で効率的に行うためのアプリケーションです。



Color Centro では、次の 7 種類の機能を利用できます。

No.	機能	説明
1	[キャリブレーション]	本機ではこの機能を使用できません。
2	[トーンカーブ調整]	出力画像の色調を調整します。CMYK 各色の入力濃度に対する印刷濃度を操作することで、明るさやコントラストを調整できます。本機ではカラー画像用の設定を使用できません。
3	[カラーコンフィグレーション管理]	本機ではこの機能を使用できません。
4	[カラーデフォルト設定]	色変換のデフォルト値を設定します。RGB、CMYK、その他のカラー設定のデフォルト値を手動で設定できます。本機ではカラー画像用の設定を使用できません。
5	[スポットカラー]	本機ではこの機能を使用できません。
6	[代替色管理]	本機ではこの機能を使用できません。
7	[プロファイル管理]	本機ではこの機能を使用できません。

④ 参照

詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

▶ インストールする

付属の Color Centro CD-ROM からインストーラーを起動して、お使いのコンピューターに Color Centro をインストールします。

- ✓ インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 Color Centro CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内の [AutoRun.exe] をダブルクリックして、手順 3 に進みます。

2 [設定・管理ツール] - [Color Centro] - [インストール] をクリックします。

[ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

3 言語を選択してから、[OK] をクリックします。

.NET Framework 3.5 がコンピューターにインストールされていない場合は、画面の指示に従ってインストールしてください。

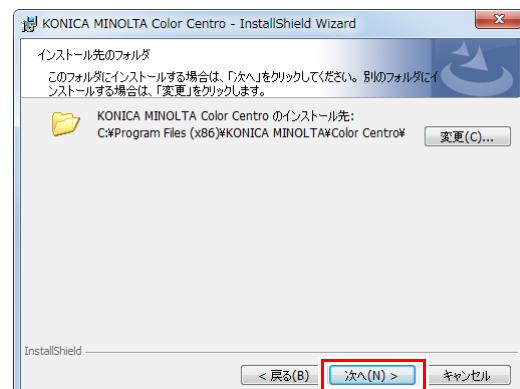


4 [次へ] をクリックします。

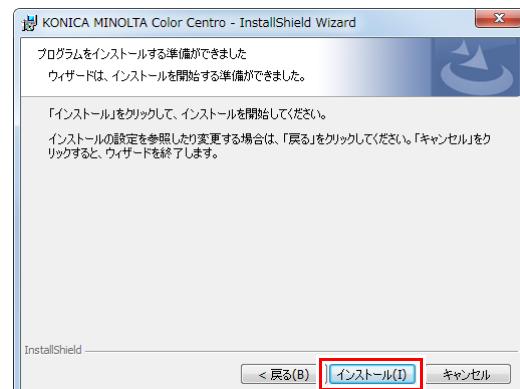
5 使用許諾契約書を確認して [使用許諾契約の条項に同意します] をクリックしてから、[次へ] をクリックします。

6 インストール先を確認してから、[次へ] をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[変更] をクリックしてから、インストール先を指定します。



7 [インストール] をクリックします。



8 [完了] をクリックします。

▶ 起動する

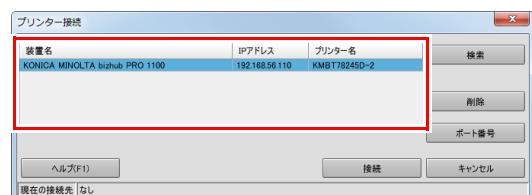
Color Centro を起動するには、最初に本機に接続します。

- ✓ Color Centro は Java アプリケーションです。ファイアウォールによって Java アプリケーションがブロックされているときは、Java アプリケーションによるネットワーク上の通信を許可してください。
- ✓ ログインするには、本機の IP アドレスとポート番号が必要です。（ポート番号の初期値：30081）
操作パネルから、IP アドレスは [TCP/IP 設定] で、ポート番号は [JSP 設定] で確認できます。
[TCP/IP 設定] と [JSP 設定] には、次の順番で進むことができます。
[管理者設定] - [ネットワーク設定] - [NIC 設定]
JSP 設定とは、Java アプリケーションサーバーとの接続に関する設定です。
管理者パスワードの初期値は 6-15 ページをごらんください。

1 スタートメニューから [すべてのプログラム] - [KONICA MINOLTA] - [Color Centro] - [KONICA MINOLTA Color Centro] をクリックします。

2 接続先を選択します。

本機が表示されないときは、[検索] をクリックして検索してください。



3 [接続] をクリックします。

Color Centro が起動して、[Color Centro] 画面を使用できます。

Job Centro のセットアップ

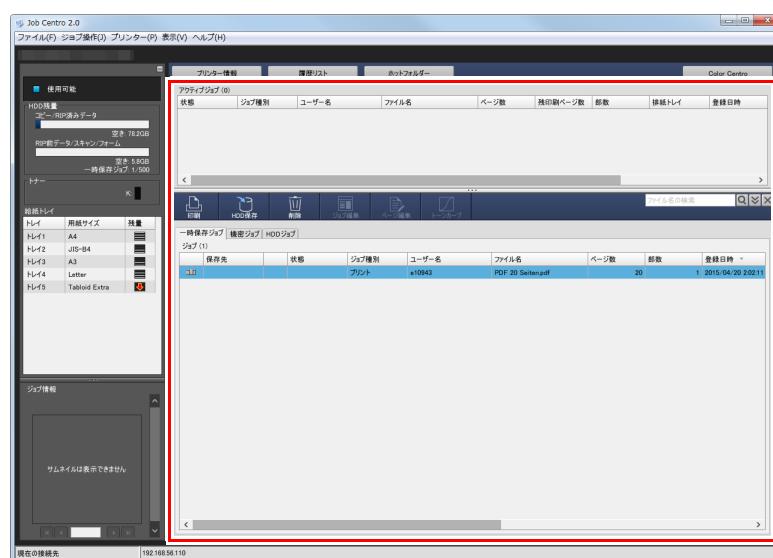
▶ 機能概要

✓ ジョブの管理

Job Centro を利用すると、本機に保存されているジョブを遠隔から操作できます。

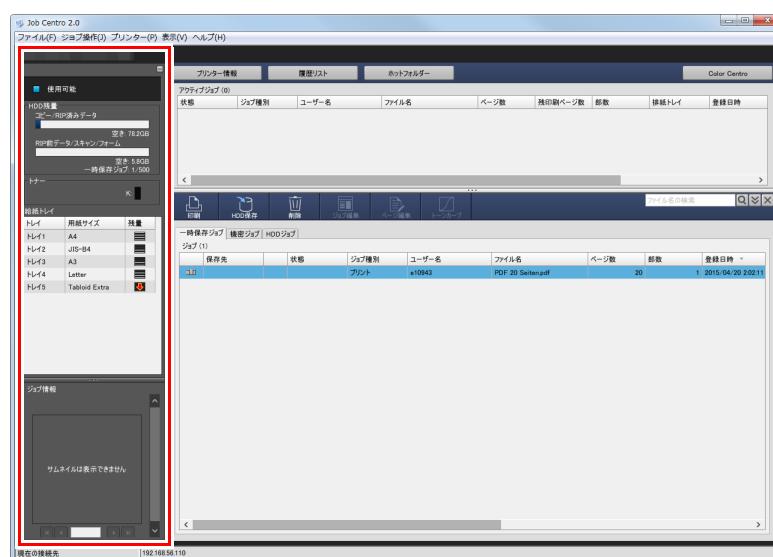
また、Job Centro では、ジョブの編集やページの編集ができます。本機に保存されているジョブの用紙設定や仕上り設定などを変更したり、ページのサムネイルを見ながらページの移動や削除をしたり、章区切りの挿入などを行うことができます。

画面の右エリアに、本機で処理中のジョブや一時保存しているジョブを表示します。モニタリング対象のジョブには、印刷指示、印刷の優先度の変更、削除などの操作ができます。



✓ 装置情報の確認

画面の左エリアに、本機の状態、消耗品情報、トレイ情報などの装置情報を表示します。遠隔から本機の状態を容易に確認できます。



▶インストールする

付属の Job Centro CD-ROM からインストーラーを起動して、お使いのコンピューターに Job Centro をインストールします。

- ✓ インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

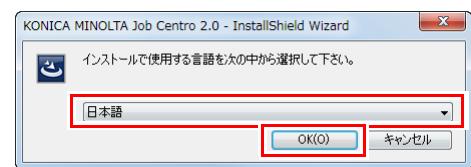
1 Job Centro CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内の [AutoRun.exe] をダブルクリックして、手順 3 に進みます。

2 [設定・管理ツール] - [Job Centro 2.0] - [インストール] をクリックします。

[ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [許可] をクリックします。

3 言語を選択してから、[OK] をクリックします。

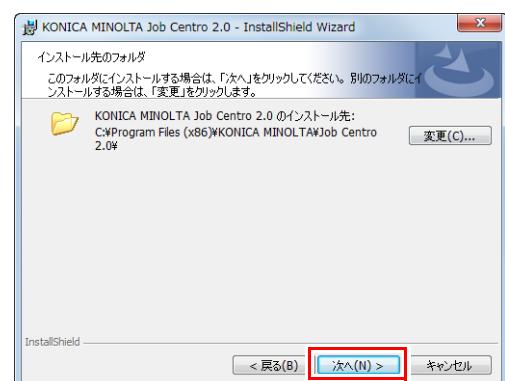


4 [次へ] をクリックします。

5 使用許諾契約書を確認して [使用許諾契約の条項に同意します] をクリックしてから、[次へ] をクリックします。

6 インストール先を確認してから、[次へ] をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[変更] をクリックしてから、インストール先を指定します。



7 [インストール] をクリックします。



8 [完了] をクリックします。

▶ 起動する

Job Centro を起動するには、最初に本機に接続します。

- ✓ Job Centro は Java アプリケーションです。ファイアウォールによって Java アプリケーションがブロックされているときは、Java アプリケーションによるネットワーク上の通信を許可してください。
- ✓ ログインするには、本機の IP アドレスとポート番号が必要です。(ポート番号の初期値：30081)
操作パネルから、IP アドレスは [TCP/IP 設定] で、ポート番号は [JSP 設定] で確認できます。
[TCP/IP 設定] と [JSP 設定] には、次の順番で進むことができます。
[管理者設定] - [ネットワーク設定] - [NIC 設定]
JSP 設定とは、Java アプリケーションサーバーとの接続に関する設定です。
管理者パスワードの初期値は 6-15 ページをごらんください。

1 スタートメニューから [すべてのプログラム] - [KONICA MINOLTA] - [Job Centro 2.0] - [KONICA MINOLTA Job Centro 2.0] をクリックします。

2 接続先を選択します。

本機が表示されないときは、[検索] をクリックして検索してください。



3 [接続] をクリックします。

Job Centro が起動します。

4 基本的な操作

4.1 用紙のセット

本体トレイにセットする

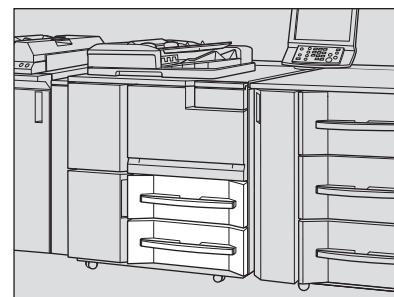
トレイ 1 とトレイ 2 の用紙のセット方法は、同じです。ここでは、トレイ 1 に用紙をセットする手順を説明します。

1 用紙をセットするトレイを引出します。

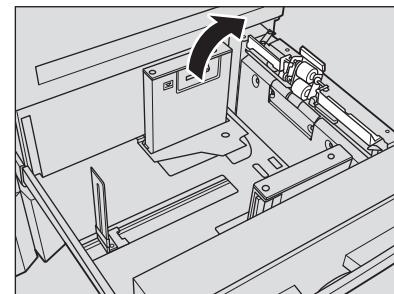
！重要

本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。
副電源スイッチを ON にしてください。

機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出することはできません。



2 給紙ローラーを開きます。

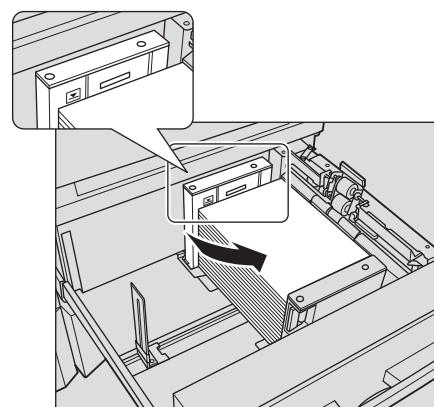


3 後端ガイド板を任意の位置にスライドさせます。

4 印刷面を下にして、用紙をセットします。

！重要

セットした用紙が、トレイの側面ガイド板に表示されている積載制限のラインを超えないようにしてください。



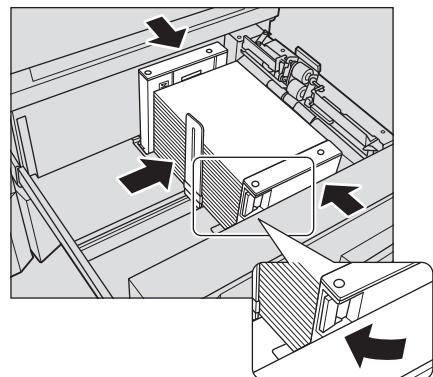
5 側面ガイド板および後端ガイド板を、用紙に沿わせます。

トレイの給紙ローラー側に、用紙をそろえるようにしてセットします。側面ガイドロック解除レバーを押しながら、両方の側面ガイド板を用紙に沿わせます。

！ 重要

側面ガイド板および後端ガイド板は、確実に用紙に突き当ててください。ガイドと用紙との間に隙間があると、機械が正確なサイズを検知できず、給送装置が故障する原因となります。

用紙が折れ曲がっていないか確認してください。紙づまりの原因となります。



6 給紙ローラーを閉じて、トレイを閉じます。

トレイを奥まで確実に押込んでください。

[機械状態] 画面または [コピー] 画面のトレイ情報表示部にある残量表示が  から  に変わります。

！ 重要

トレイを勢いよく閉じないでください。トレイや用紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わって、故障の原因となります。

ペーパーフィーダーユニット PF-709 にセットする

オプションのペーパーフィーダーユニット PF-709 に用紙をセットする手順を説明します。トレイ 3～トレイ 5 の用紙のセット方法は、同じです。

① 参照

その他の給紙オプションに用紙をセットする方法については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

1 用紙をセットするトレイを引出します。

■ 重要

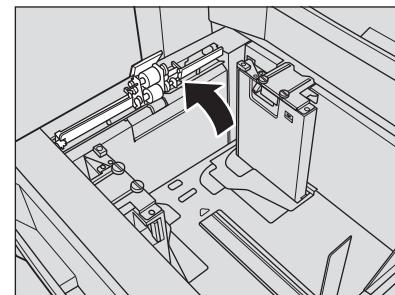
本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。
副電源スイッチを ON にしてください。

機械の転倒を防止するために、一度に複数のトレイを引出すことはできません。



2 紙ローラーを開きます。

- 違うサイズの用紙をセットするときは、手順 3 に進みます。
- 同じサイズの用紙をセットするときは、手順 6 に進みます。

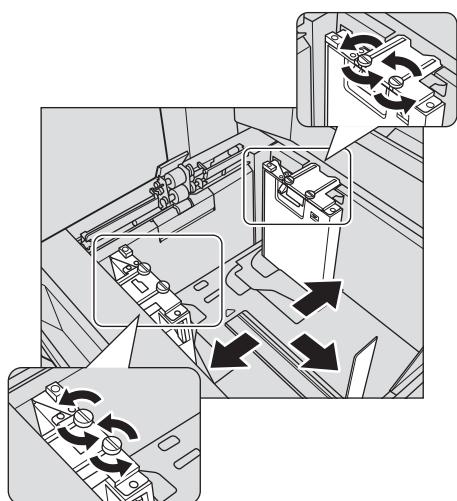


3 側面ガイド板および後端ガイド板を大きく広げます。

- 側面ガイド板の側面ガイド固定ツマミ（4箇所）を、反時計方向に回してゆるめます。
- 側面ガイドロック解除レバーを押しながら大きく広げます。
- 後端ガイド板も大きく広げます。

■ 重要

側面ガイド板を動かすときは、側面ガイドロック解除レバーと奥側の取手との両方を持ってください。手前側の側面ガイド板だけで動かすと、側面ガイド板の位置ズレを起こすことがあります。



4 側面ガイド板の位置を決めます。

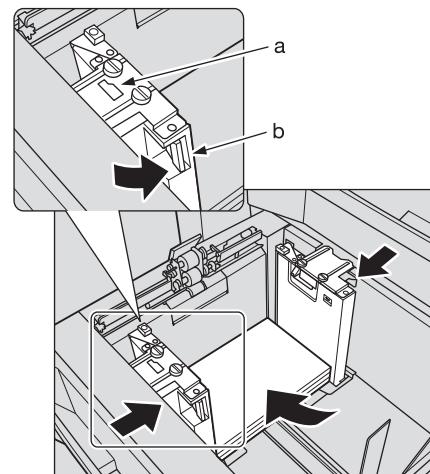
100 枚ほどの用紙を、印刷面を上にしてセットします。側面ガイドロック解除レバーを押しながら、両方の側面ガイド板を用紙に沿わせ、側面ガイド板上面のサイズ指標に合わせて位置を決めます。

a : サイズ指標

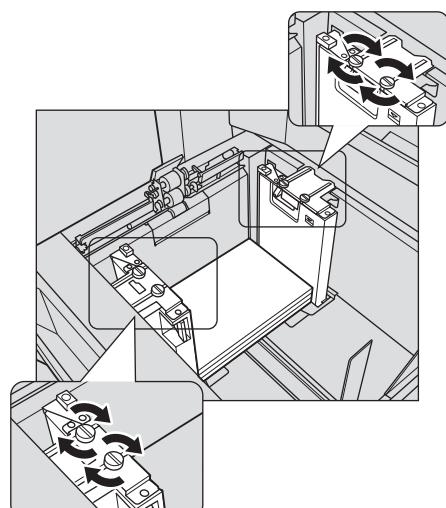
b : 側面ガイドロック解除レバー

! 重要

印刷面を上に向けて用紙をセットしてください。



5 側面ガイド板の側面ガイド固定ツマミ (4箇所) を時計方向に回して固定します。



6 残りの用紙をセットして、後端ガイド板を用紙に突き当てます。

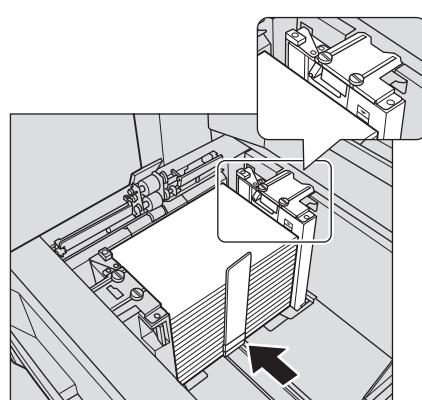
- トレイの給紙ローラー側に、用紙を揃えるようにしてセットします。
- 後端ガイド板を用紙に突き当てます。

! 重要

側面ガイド板に表示されている高さ制限の ▼ マークを超えないようにしてください。紙づまりの原因となります。また、エアーブラスト出口にある紙押さえレバーより下になるように、用紙をセットしてください。

用紙幅 182 mm 未満の用紙をセットするときは、側面ガイド板に装備されている小サイズガイドを使います。小サイズガイドの使い方については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

後端ガイド板を確実に用紙に突き当ててください。後端ガイド板と用紙の間に隙間があると、本機が正確なサイズを検知できません。給紙装置の故障の原因となります。



7 給紙ローラーを閉じて、トレイを閉じます。

トレイを奥まで確実に押込んでください。

【機械状態】画面または【コピー】画面のトレイ情報表示部にある残量表示が  から  に変わります。

**!
重 要**

トレイを勢いよく閉じないでください。トレイや用紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わって、故障の原因となります。

4.2 用紙設定

トレイに用紙情報を設定する

用紙トレイにセットした用紙の情報（サイズ、種類、坪量など）を設定します。

定形サイズの用紙をセットしたときは、自動でサイズを認識します（大容量給紙ユニット LU-411、または大容量給紙ユニット LU-412 以外）。不定形サイズの用紙をセットしたときや、大容量給紙ユニット LU-411、または大容量給紙ユニット LU-412 に定形サイズの用紙をセットしたときは、サイズを設定してください。

1 [機械状態] 画面の [用紙設定] を押します。

[コピー] 画面の [用紙設定] を押しても設定できます。



2 用紙をセットしたトレイを選択してから、[設定変更] を押します。



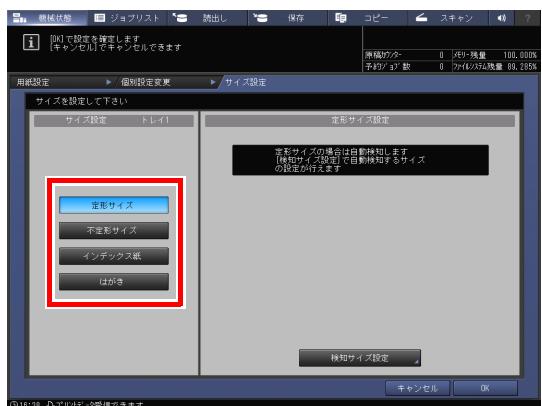
3 [用紙種類] を押して、用紙種類を選択します。



4 [用紙サイズ] を押します。



5 トレイにセットした用紙に合わせて、サイズ設定下の選択肢から1つを選択します。



6 サイズを設定します。

[定形サイズ]：自動で認識します。（大容量給紙ユニット LU-411、または大容量給紙ユニット LU-412 以外）

[検知サイズ設定] で検知するサイズを選択できます。

機械がサイズを検知するとき、サイズの違いがあまりなく、機械では区別できないサイズ群があります。これらのサイズを 1 つに特定して、機械が判断できるようにするために、[検知サイズ設定] で検知するサイズを選択できます。

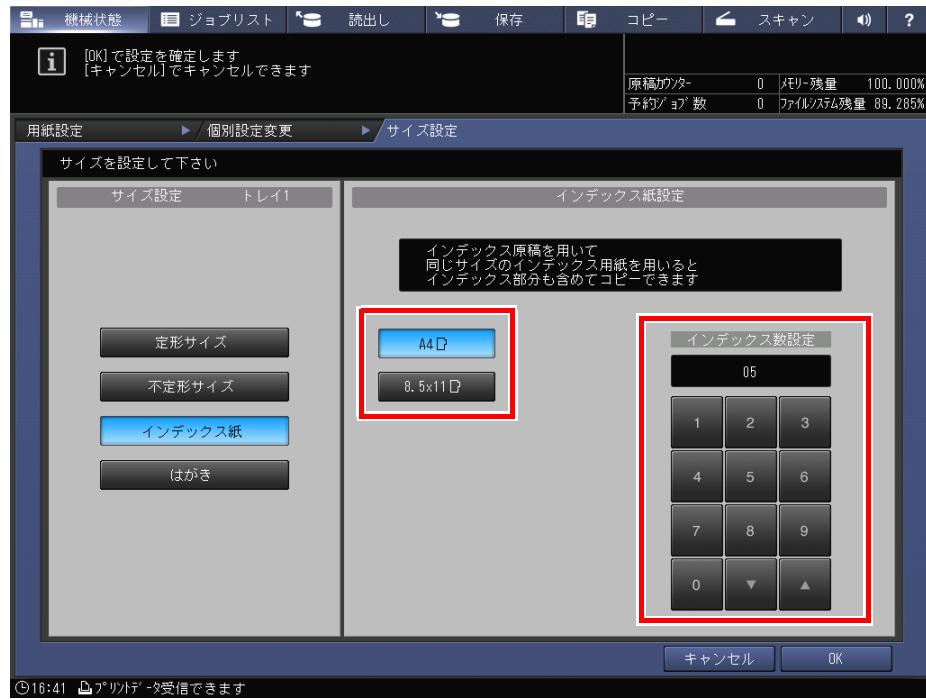


[不定形サイズ]：(1) と (2) の数値を設定します。

- [サイズ登録] で設定したサイズに名前を付けて登録できます。
- 登録したサイズは [サイズ読み出し] で呼出ることができます。



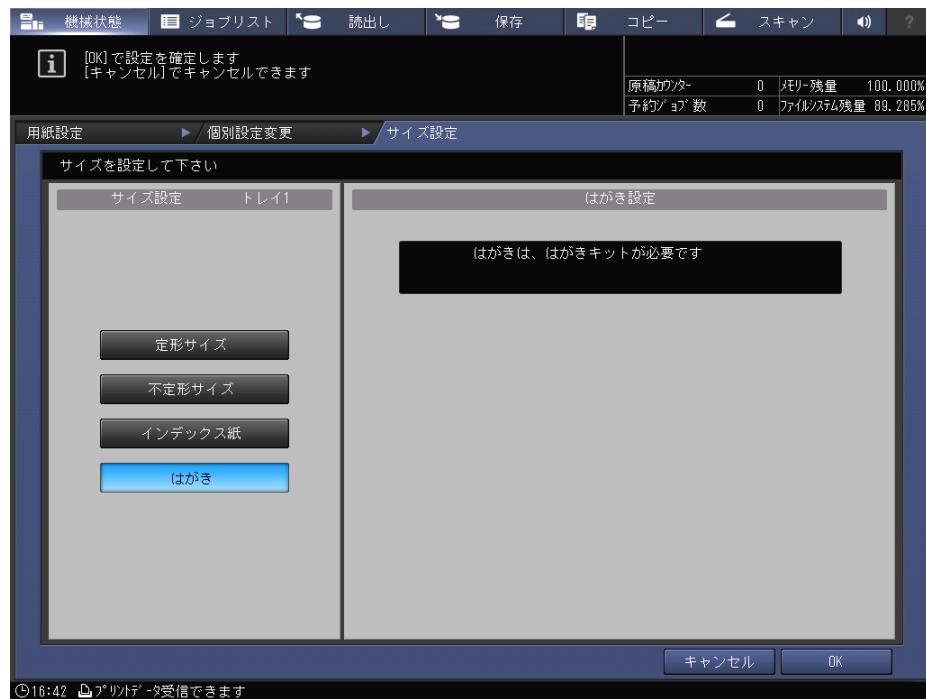
[インデックス紙]：用紙サイズとインデックス数を設定します。



[はがき]：はがきを選択します。

用紙トレイで [トレイ 1] または [トレイ 2] を選択したとき、はがきキットをセットする必要があります。サービス実施店にお問い合わせください。

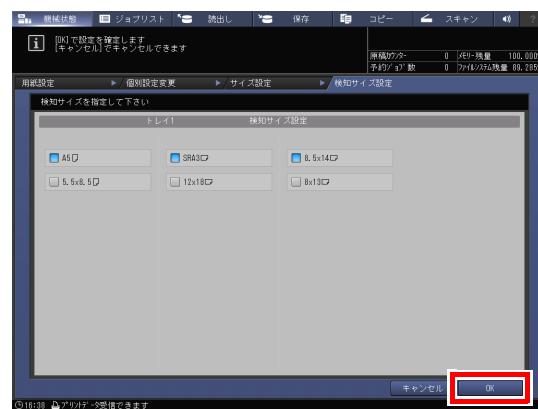
- 用紙トレイで大容量給紙ユニット LU-411、または大容量給紙ユニット LU-412 の [トレイ 3] を選択したとき、[はがき] ボタンは表示されず、選択できません。
- 用紙トレイでペーパーフィーダユニット PF-709 の [トレイ 3] ~ [トレイ 5] を選択したとき、選択したトレイの小サイズガイドを開きます。



7 [定形サイズ] の [検出サイズ設定] を設定したときは、[OK] を押します。

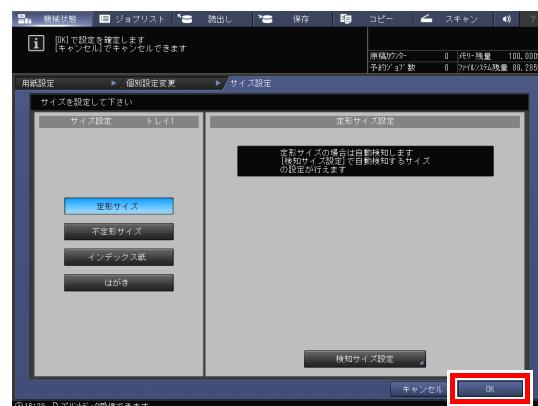
[サイズ設定] 画面に戻ります。

[不定形サイズ] または [インデックス紙] を設定したときは、この操作は不要です。



8 [OK] を押します。

[個別設定変更] 画面に戻ります。



9 必要に応じて、その他の項目を設定します。



10 [OK] を押します。

[用紙設定] 画面に戻ります。



11 [閉じる] を押します。

[機械状態] 画面に戻ります。

[コピー] 画面の [用紙設定] を押して操作したときは、[コピー] 画面に戻ります。

これで用紙設定は完了です。



設定項目について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。



用紙プロファイルに用紙条件を登録をする場合は、[設定登録] を押します。用紙プロファイルの登録方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

4.3 プリンタードライバーの設定

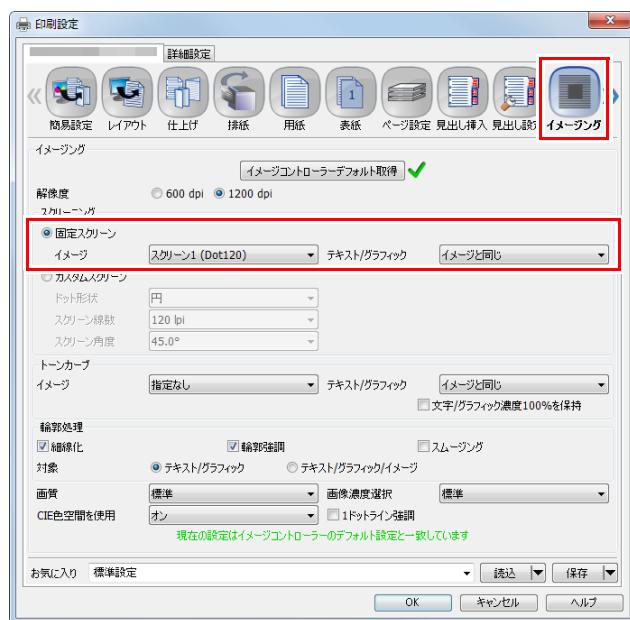
プリンタードライバーの機能

ここでは、プリンタードライバーからイメージングを設定する方法を説明します。

本書では、例として Windows 7 環境で Adobe Reader XI から PS Plug-in ドライバーを利用して印刷する方法を紹介しています。

▶ [スクリーニング]：固定スクリーン選択

プリンタードライバーの印刷設定画面で [イメージング] を開いて、[固定スクリーン] の [イメージ] と [テキスト/グラフィック] の設定を [スクリーン1]、[スクリーン2]、[ストキャスティック] から選択します。



参考

本機で設定したスクリーン名称と一致しない場合は、[イメージコントローラーデフォルト取得] をクリックして情報を更新してください。

[ストキャスティック] を選択すると、[イメージ] と [テキスト/グラフィック] は同じ設定になります。

参照

[固定スクリーン] の割当ては本機の [カスタムスクリーン] で設定できます。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

▶ [スクリーニング] : カスタムスクリーン設定

プリンタードライバーの印刷設定画面で【イメージング】を開いて、【カスタムスクリーン】で【ドット形状】、【スクリーン線数】、【スクリーン角度】を設定します。



【ドット形状】では、印刷ドットの形状を設定できます。ドット形状の詳細については、プリンタードライバーのヘルプをごらんください。

【スクリーン線数】では、1インチに並ぶ網点の数を設定できます。単位は lpi (line per inch) です。数が多ければ多いほど解像度は上がりますが、階調は下がります。

【スクリーン角度】では、スクリーンの垂直軸との角度を設定できます。モノクロ印刷では 45° の角度に設定することが一般的です。

▶ [トーンカーブ]：トーンカーブ設定

プリンタードライバーの印刷設定画面で【イメージング】を開いて、【トーンカーブ】の【イメージ】と【テキスト/グラフィック】の設定をリストから選択します。

トーンカーブの設定に関わらず、文字とグラフィックの濃度を本機の最高濃度で出力する場合は、【文字/グラフィック濃度 100% を保持】にチェックを付けます。



Q 参照

Color Centro の【トーンカーブ調整】を使って、トーンカーブを管理できます。詳しくは、5-26 ページをごらんください。

5 仕上り品質を保つために

5.1 表裏調整

表裏調整について

両面印刷を行うときは、オモテ面とウラ面の印刷位置を合わせるために、表裏の位置ズレを補正できます。この作業を表裏調整と呼びます。

印刷時は、定着部の熱による影響で、用紙が若干拡大または縮小することがあります。用紙の種類や坪量によって影響を受ける度合いが異なるため、トレイにセットする用紙を変更したときは、必ず表裏調整を行ってください。



表裏調整は、[機械状態] 画面の [用紙設定] から入る方法と、[表裏調整] から入る 2 種類の方法があります。本書では、[用紙設定] から入って調整する方法を説明します。



[表裏調整] からの入り方については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

調整の流れ

表裏調整は次の流れで進めてください。

1 印刷面の基準位置を確認する

印刷位置のズレを判断するためには、本機側で必要な基準位置の調整が完了している必要があります。表裏調整を行う前に、基準位置の調整値を確認して、必要があれば調整してください。

確認が必要な調整項目は、[機械状態] 画面の [調整] - [マシン調整] - [プリンター調整] にある次の項目になります。

- [01 先端タイミング調整]
- [02 片寄り調整]
- [03 通紙方向倍率調整]
- [04 通紙交差方向倍率調整]

調整は、オモテ面を上の機能の 03 → 04 → 01 → 02 の順番で調整してから、次にウラ面も同じ順番で調整してください。

調整値の確認や再調整については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

2 トレイごとに表裏調整を行う

次の方法で調整できます。

- スキャン測定調整：オモテ面を基準に、ウラ面の倍率と印刷位置を補正して、表裏を合わせる調整方法です。本機のスキャナー機能を使って自動的に表裏調整を行います。(5-2 ページ)
- 表裏差調整：オモテ面を基準に、ウラ面の倍率および印刷位置を調整します。(5-11 ページ)
- チャート調整：オモテ面とウラ面の倍率と印刷位置を補正して、表裏を合わせる調整方法です。(5-16 ページ)
- 倍率・イメージシフト調整：スキャン測定調整、表裏差調整またはチャート調整後に微調整を行うときや、表裏のズレの量を把握できているときの調整方法です。(5-23 ページ)



印刷時に用紙曲がりやしわなどが発生するときは、スキャン測定調整、表裏差調整、チャート調整または倍率・イメージシフト調整を行う前に、レジストループ量を調整してください。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

印刷面の基準位置の調整や [表裏調整] で印刷されるチャートのオモテ (front) 面には、◆マークが印字され、マークの数でどの給紙トレイから印刷したのか確認できます。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

■ 重要

印刷面の基準位置に関する調整は、高度な調整です。実施する前に、サービス実施店にお問い合わせください。

【表裏調整】画面のデフォルト画面を変更できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

トレイごとに表裏調整を行う

両面印刷時のオモテ面とウラ面の位置ズレを、トレイごとに調整します。

表裏調整には次の方法があります。

- ・ スキヤン測定調整
- ・ 表裏差調整
- ・ チャート調整
- ・ 倍率・イメージシフト調整

チャート調整または倍率・イメージシフト調整でオモテ面の倍率と印刷位置を調整してから、スキヤン測定調整または表裏差調整でウラ面の倍率と印刷位置を調整すると便利です。

スキヤン測定調整と表裏差調整を両方行う必要はありません。

■ 参考

用紙条件を設定してある用紙プロファイルに表裏調整の調整値を登録しておくことができます。用紙条件を登録しておけば、セットするトレイを変更したときなどでも、以前と同じ条件で印刷できます。用紙プロファイルの編集と登録については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

▶ スキヤン測定調整

オモテ面の印刷位置を基準に、ウラ面の倍率および印刷位置を調整します。本機のスキヤナー機能を使って、オモテ面に対するウラ面の印刷位置のズレ量を測定することで、自動的にウラ面の倍率および印刷位置を調整します。スケールでズレ量を測定する必要はありません。本機で使用できるすべてのサイズの用紙について調整できます。

オモテ面 (front)、ウラ面 (back) の調整チャートを 1 ~ 20 枚の範囲で両面印刷して、調整チャート 1 枚につき 4 回スキャンします。最大 20 枚の調整チャートのスキャン測定によって得られた、オモテ面に対するウラ面の印刷位置のズレの平均値を算出し、ウラ面の倍率および印刷位置を調整します。

■ 重要

【スキヤン測定】調整は、多数枚出力したとき生じる最初と最後の印刷位置のズレを考慮した、ズレの平均値による調整ができます。

【スキヤン測定】調整を行うと、用紙条件として登録した「倍率・イメージシフト調整」の再調整が必要になることがあります。

【スキヤン測定】調整は、ウラ面の倍率と画像位置だけを調整する簡易の調整方法です。オモテ面も含めて調整する場合は、「チャート調整」(5-16 ページ) または「倍率・イメージシフト調整」(5-23 ページ) を行ってください。

- 1 [機械状態] 画面の [用紙設定] を押します。



- 2 調整したい用紙をセットしたトレイを選択してから、[設定変更] を押します。



- 3 [表裏調整] を押します。



- 4 [スキャン測定] が表示されていることを確認し、[測定用背景シート出力] を押します。



5 [印刷モード] 画面が表示されたら、操作パネルのスタートを押します。

測定用背景シートが出力されます。

既に使用できる測定用背景シートが手元にあるときは、出力する必要はありません。手順 7 に進みます。

重要

測定用背景シートは、A3 以上または 11×17 以上の用紙サイズで出力してください。[測定用背景シート出力] を押して測定用背景シートの印刷モード画面を表示すると、手順 2 で選択したトレイが自動的に選択されますが、出力するトレイを変更できます。A3 以上または 11×17 以上の用紙サイズのトレイを選択してください。出力する枚数の設定も変更できますが、1 枚だけ出力します。測定用背景シートの用紙サイズが A3 または 11×17 より小さいとき、スキャン測定ができないことがあります。



6 [印刷モード終了] を押します。



7 [1. 調整チャート出力] を押します。



8 調整チャートの出力枚数を入力します。

調整チャートは 20 枚以上出力できますが、連続してスキャン測定できるのは最大 20 枚です。



9 操作パネルのスタートを押します。

手順 2 で選択したトレイの用紙に、調整チャートが両面印刷されます。

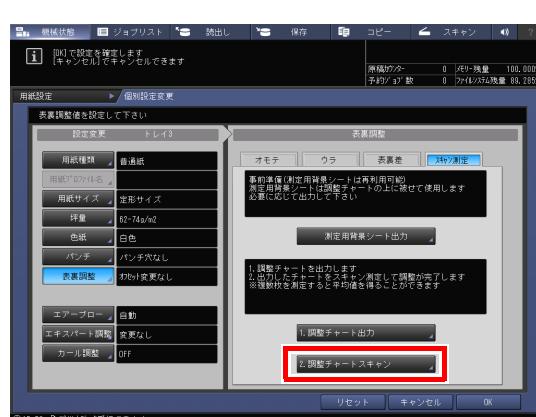


10 [印刷モード終了] を押します。



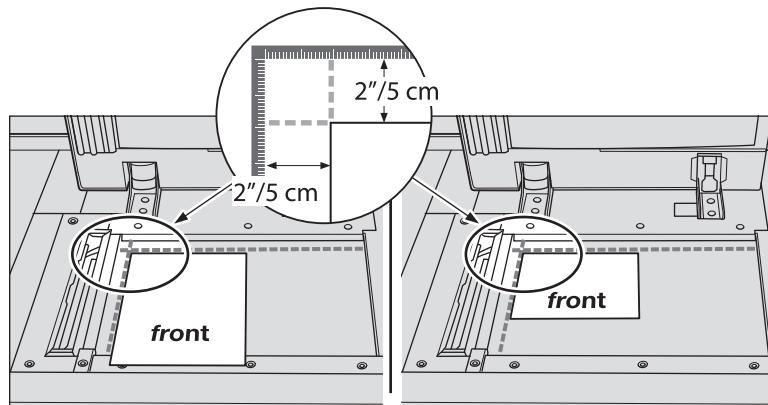
11 [2. 調整チャートスキャン] を押します。

[調整チャートスキャン] 画面が表示されます。

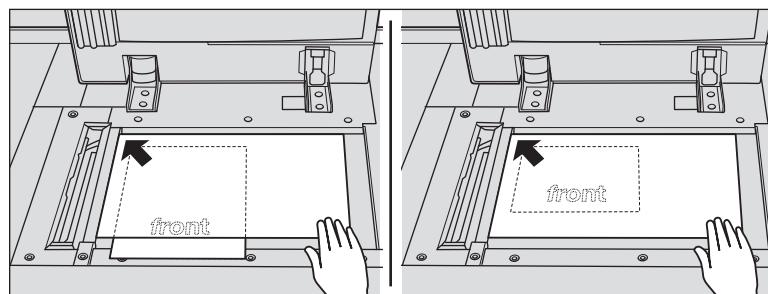


12 調整チャートを原稿ガラスにセットします。

ADFを開き、調整チャートのオモテ面(front)を上向き(原稿ガラスと反対側)に、天を奥側にしてセットします。調整チャートの左上角を、垂直方向原稿サイズ指標と水平方向原稿サイズ指標からそれぞれ約2インチ(約5cm)の所に置き、左辺と上辺がそれぞれ垂直方向原稿サイズ指標と水平方向原稿サイズ指標と平行になるよう、原稿ガラスにセットします。

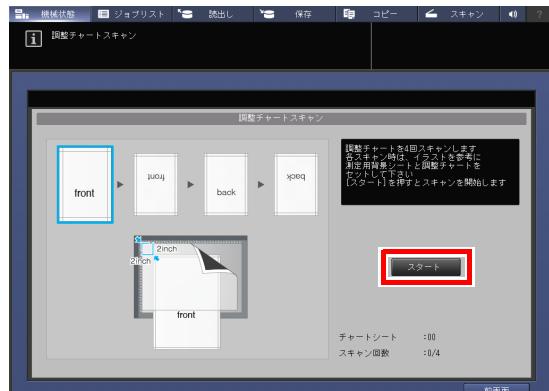
**13 測定用背景シートを原稿ガラスにセットしてADFを閉じます。**

測定用背景シートの黒い面を下向き(原稿ガラス側)にして、下図のように垂直方向原稿サイズ指標と水平方向原稿サイズ指標に突き当てます。このとき、先にセットした調整チャートの位置がずれないように注意してください。



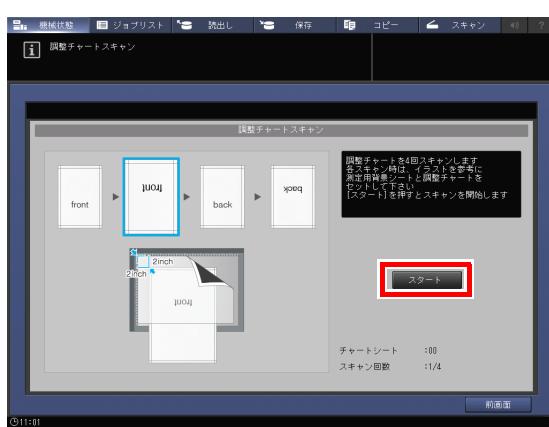
14 [調整チャートスキャン] 画面の [スタート] を押します。

調整チャートがスキャンされます。



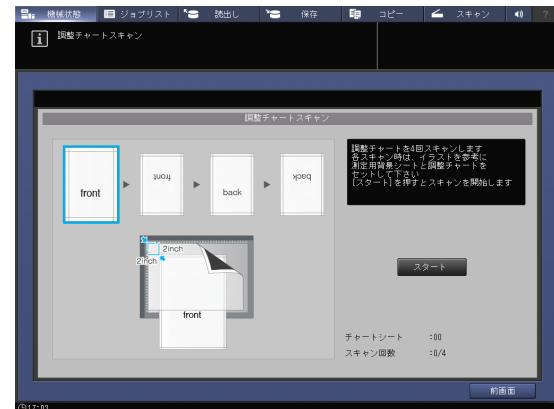
スキャンが正しく終わると、調整チャートスキャン画面の [スキャン回数] の表示が 1 つ繰上がり、画面上部のイラストにある青枠表示が、1 つ右のイラストに移動します。

- 青枠表示が移動する前に調整チャートを動かすと、正しく測定できないことがあります。
- ADF が開いていると、スキャンできずメッセージが表示されます。ADF を閉じてから、メッセージダイアログの [閉じる] を押してください。
- 正しくスキャンできない場合はメッセージが表示されることがあります。画面表示に従って、調整チャートや測定用背景シートを正しくセットしなおしてから、[閉じる] を押してください。
- スキャン測定中に調整チャートスキャン画面の [前画面] を押すと、スキャン測定の中止を確認するメッセージが表示されます。それまでの測定結果を破棄するときは、[はい] を押します。スキャン測定の 1 回目から、スキャンをやりなおします。スキャン測定を継続するときは、[いいえ] を押します。

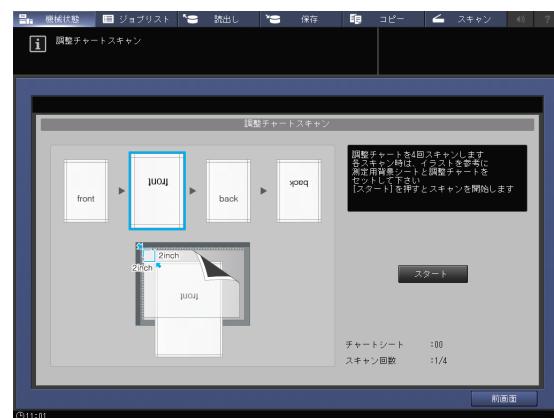


15 1枚の調整チャートについて、手順 12～手順 14 のスキャンを 4 回繰返します。

- 1回目：調整チャートのオモテ面（front）を上向き（原稿ガラスと反対側）に、天を奥側にしてセットします。



- 2回目：調整チャートのオモテ面（front）を上向き（原稿ガラスと反対側）に、地を奥側にしてセットします。



- 3回目：調整チャートのウラ面（back）を上向き（原稿ガラスと反対側）に、天を奥側にしてセットします。



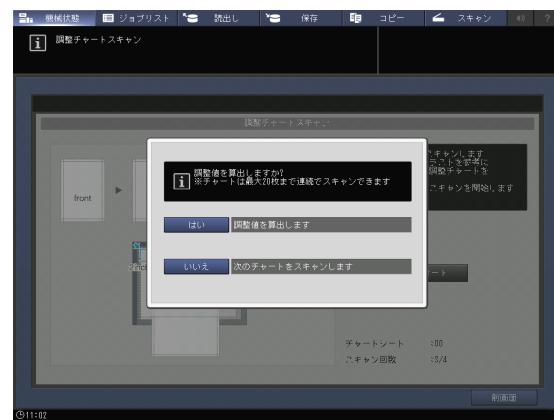
- 4回目：調整チャートのウラ面（back）を上向き（原稿ガラスと反対側）に、地を奥側にしてセットします。

4回のスキャンが終了すると、調整値算出のダイアログが表示されます。



16 スキャン測定を継続するか、スキャン測定を終了して調整値を算出するか選択します。

- スキャン測定を継続するときは、[いいえ]を押します。スキャン測定を終了して調整値を算出するときは、[はい]を押します。
- [いいえ]を押すと、[チャートシート]の枚数表示を1つ繰上げて、[調整チャートスキャン]画面にもどります。手順12～手順15の操作を、調整チャート枚数分繰返します。測定結果が可算されます。最大20回まで繰返します。20回のスキャン測定が完了すると、[いいえ]は押せなくなります。
- [はい]を押すと、加算された測定結果から自動的に調整値を算出して、[ウラ]の倍率とイメージシフトに反映します。
[はい]を押した後、調整チャートを1枚出力して結果を確認します。再調整が必要な場合は、手順8～手順16の操作を繰返します。
- [はい]を押して算出した調整値が調整可能範囲を越えているときは、調整可能範囲を超えたことを示すメッセージが表示されます。[閉じる]を押して調整値を破棄し、最初からスキャン測定をやりなおします。
- 調整可能範囲を超える原因としては、スキャン測定に使用したチャートが正しくない（別のチャートが使用された）、オモテ面の印刷位置の調整状態が悪い、印刷面の基準位置の調整が完了していない、などが考えられます。スキャン測定をやりなおす前に、これらを確認してください。



17 調整が完了したら、[OK] を押します。

調整値の微調整を行う場合は、引き続き「倍率・イメージシフト調整」(5-23ページ) の手順4にお進みください。



18 [閉じる] を押して、調整を終了します。

これで、スキャン測定調整は完了です。

- 用紙プロファイルに調整値を登録する場合は、[設定登録] を押します。
 - 用紙プロファイルの登録方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。



▶ 表裏差調整

チャートを出力して、ウラ面の測定ポイントでオモテ面とウラ面のズレをスケールで測定して調整値を決め、その値を入力することで調整できます。(オモテ面の画像位置を基準に、ウラ面の倍率および画像位置を調整します。)

調整値を入力するだけで調整できるので、新しい種類の用紙で両面印刷する場合や、トレイの用紙を変更した場合などで、ウラ面の位置ズレが不明確なときに便利な調整です。

重要

表裏差調整は、ウラ面の倍率と画像位置のみを調整する簡易の調整方法です。オモテ面も含めて調整する場合は、「チャート調整」(5-16 ページ) または「倍率・イメージシフト調整」(5-23 ページ) を行ってください。

- 1** [機械状態] 画面の [用紙設定] を押します。



- 2** 調整したい用紙をセットしたトレイを選択してから、[設定変更] を押します。



- 3** [表裏調整] を押します。



- 4 [表裏差] を押してから、[印刷モードへ] を押します。



- 5 [印刷モード] 画面が表示されたら、操作パネルのスタートを押します。
チャートが出力されます。

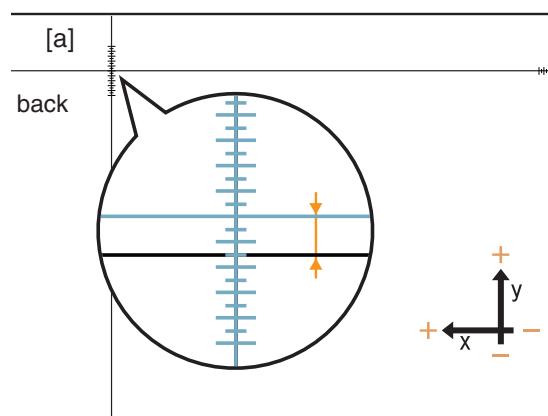


- 6 [印刷モード終了] を押します。



7 出力されたチャートの [back] 面（ウラ面）側にある [a] ~ [d] の各ポイントでオモテ面とウラ面のズレを測定します。

- 図は [a] を測定するときの例です。目盛りの間隔は 0.5 mm です。
- 図の黒い線はオモテ面、青い線はウラ面を示しています。
- 0.1 mm 単位まで入力できます。
- たとえば、図のように [a] の目盛りが、オモテ面よりプラス側に 1.5 mm ズレているときは、ウラ面の青い線をマイナス側に 1.5 mm 移動させたいので、[1] [5] [+ / -] の順に押して -1.5 を入力して補正します。
- 測定した数値は、忘れないようにメモしておいてください。



8 各ポイントの [a] ~ [d] を押して、画面のテンキーまたは [▼]、[▲] で測定した数値を入力します。

- 印刷位置が-（マイナス）側にズレているときは、+の値を入力します。+（プラス）側にズレているときは-の値を入力します。
- 数値をリセットするときは、[クリア] を押します。
- +と-を切替えるときは、[+ / -] を押して切替えます。



9 入力が完了したら、[調整開始] を押します。

入力した調整値が反映されます。



10 操作パネルのスタートを押します。

チャートが出力されます。



11 出力されたチャートで印刷位置のズレを確認します。

表裏位置のズレがなくなるまで、手順 7 ～手順 10 を繰返します。

12 [印刷モード終了] を押します。



13 調整が完了したら、[OK] を押します。

調整値の微調整を行う場合は、引き続き「倍率・イメージシフト調整」(5-23 ページ) の手順 4 にお進みください。



14 [閉じる] を押して、調整を終了します。

これで、表裏差調整は完了です。

- 用紙プロファイルに調整値を登録する場合は、[設定登録] を押します。
- 用紙プロファイルの登録方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。



▶ チャート調整

表裏調整用のチャートを出力して、測定ポイントをスケールで測定してから、測定値を入力することで調整できます。

測定値を入力するだけで表裏を調整できるので、新しい種類の用紙で両面印刷する場合や、トレイの用紙を変更した場合などで表裏の位置ズレが不明確なときに便利な調整です。

- 1** [機械状態] 画面の [用紙設定] を押します。



- 2** 調整したい用紙をセットしたトレイを選択してから、[設定変更] を押します。



- 3** [表裏調整] を押します。



- 4 [オモテ] を押してから、[チャート調整] を押します。



- 5 [印刷モードへ] を押します。



- 6 [印刷モード] 画面が表示されたら、操作パネルのスタートを押します。
チャートが出力されます。

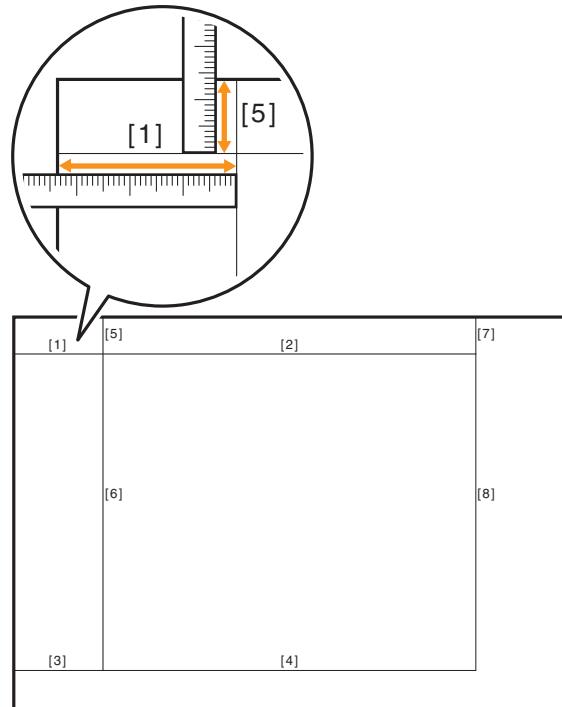


- 7 [印刷モード終了] を押します。



8 出力されたチャートの [1] ~ [8] 各ポイントの線の長さを、スケールなどで測定します。

- 右の図は、[1] と [5] を測定する例です。このように、印字された各ポイントの長さを測定します。
- 0.1 mm 単位まで入力できます。
- 測定した長さは、忘れないようにメモしておいてください。



9 各ポイントの番号を押して、画面のテンキーまたは [▼]、[▲] で測定した長さを入力します。

- 数値をリセットするときは、[クリア] を押します。



10 入力が完了したら、[調整開始] を押します。

次に、ウラ面を調整します。



11 [ウラ] を押してから、[チャート調整] を押します。



12 [印刷モードへ] を押します。



13 [印刷モード] 画面が表示されたら、操作パネルのスタートを押します。

チャートが出力されます。

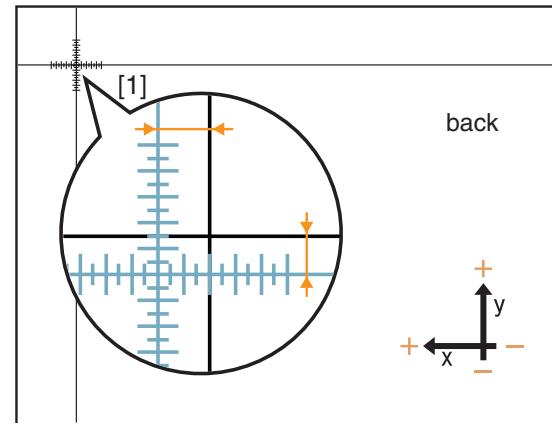


14 [印刷モード終了] を押します。



15 出力されたチャートの [back] 面（ウラ面）側にある [1] ~ [4] の + と、[front] 面（オモテ面）の + のズレを測定します。

- 図は [1] を測定するときの例です。目盛りの間隔は 0.5 mm です。
- 図の黒い + はオモテ面、青い + はウラ面を示しています。
- 印刷位置のズレは、左右方向 (X 軸) と上下方向 (Y 軸) を測定します。
- 0.1 mm 単位まで入力できます。
- たとえば、図のように [1] の + が、オモテ面より X 方向のプラス側に 2.0 mm、Y 方向のマイナス側に 1.5 mm ズレているときは、[1] はウラ面の青い線を X 方向のマイナス側に 2.0 mm、Y 方向のプラス側に 1.5 mm 移動させたいので、X は [2] [0] [+ / -] の順に押して -2.0、Y は [1] [5] の順に押して +1.5 を入力して補正します。
- 測定した数値は、忘れないようにメモしてください。



16 各ポイントの[X] または [Y] を押して、画面のテンキーまたは [▼]、[▲] で測定した数値を入力します。

- 印刷位置がマイナス側にズしているときは、プラスの値を入力します。プラス側にズしているときは、マイナスの値を入力します。
- 数値をリセットするときは、[クリア] を押します。
- +と-を切替えるときは、[+ / -] を押して切替えます。



17 入力が完了したら、[調整開始] を押します。



18 調整が完了したら、[OK] を押します。

調整値の微調整を行う場合は、引き続き「倍率・イメージシフト調整」(5-23 ページ) の手順 4 にお進みください。



19 [閉じる] を押して、調整を終了します。

これで、チャート調整は完了です。

- 用紙プロファイルに調整値を登録する場合は、[設定登録] を押します。
- 用紙プロファイルの登録方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。



▶ 倍率・イメージシフト調整

印刷面の倍率および上下左右の位置を、オモテ面とウラ面で細かく調整できます。

調整値をパーセンテージや移動させたい数値で直接入力できるので、スキャン測定調整、表裏差調整、またはチャート調整後の微調整や、両面印刷の結果が手元にある場合などに便利な調整です。

- 1** [機械状態] 画面の [用紙設定] を押します。



- 2** 調整したい用紙をセットしたトレイを選択し、[設定変更] を押します。



- 3** [表裏調整] を押します。



4 [オモテ] または [ウラ] を押して、調整したい印刷面を選択します。



5 倍率、イメージシフトの数値を、画面のテンキーや [▼]、[▲] または操作パネルのテンキーで入力します。

- 倍率を入力するときは、[タテ倍] または [ヨコ倍] を押してから、数値を入力してください。
[タテ倍] は通紙交差方向の倍率を調整します。
[ヨコ倍] は通紙方向の倍率を調整します。
印刷面を拡大するときは+の値、縮小するときは-の値を入力します。
調整値は1ステップ=0.01%ずつ変化します。
調整範囲: [タテ倍] -1.00 ~ +1.00、[ヨコ倍] -0.50 ~ +0.50
- 印刷面を上下左右に移動（イメージシフト）するときは、[上下] または [左右] を押してから、数値を入力してください。
印刷面を上または右に移動するときは+の値、下または左に移動するときは-の値を入力します。
調整値は1ステップ=0.1mmずつ変化します。
調整範囲: [上下] / [左右] -10.0 ~ +10.0
- +と-を切替えるときは、[+ / -] を押します。
- 数値をリセットするときは、[クリア] を押します。
- 倍率・イメージシフトを調整するときは、ページの中心部で確認します。



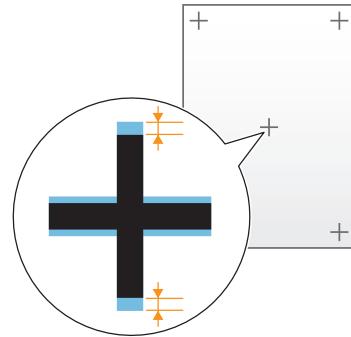
倍率の調整例：

オモテ面の画像の上下が 10 mm に対して、ウラ面の画像が 10.1 mm に伸びているとき

- [ウラ] の [タテ倍] を押してから、[1] [0] [0] を押します。
- 次に [+ / -] を押して符号を変え、調整値を [-1.00] とします。

ウラ面の画像が 1 %縮小します。

図の黒い + はオモテ面、青い + はウラ面を示しています。

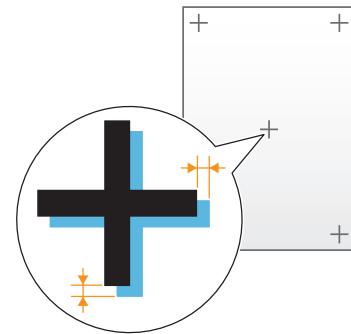


イメージシフトの調整例：

ウラ面の画像がオモテ面に対して、下に 0.5 mm、右に 0.3 mm ズレているとき

- [ウラ] の [上下] を押してから、[5] を押して調整値を [+0.5 mm] とします。
- 次に [左右] を押してから、[3]、[+ / -] の順に押して、調整値を [-0.3 mm] とします。

ウラ面の画像が上に 0.5 mm、左に 0.3 mm 移動します。



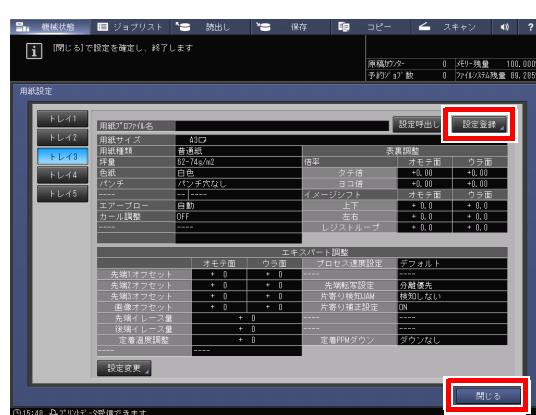
6 調整が完了したら、[OK] を押します。



7 [閉じる] を押して、調整を終了します。

ここで、倍率・イメージシフト調整は完了です。

- 用紙プロファイルに調整値を登録する場合は、[設定登録] を押します。
- 用紙プロファイルの登録方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。



参考

表裏調整を数回行ってもオモテ面とウラ面で印刷位置がズレてしまう場合は、印刷面の基準位置を再調整してください。調整方法については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

5.2 画質の調整

画質の調整について

Color Centro の [トーンカーブ調整] を使用すると、画像全体の明るさやコントラストの調整ができます。

調整操作は、スライダー / カーブ上のポイントをドラッグして行います。調整結果のプレビュー表示を確認しながら、操作できます。

トーンカーブは、本機のイメージコントローラーとコンピューターの両方に登録 / 保存できます。イメージコントローラーに保存したトーンカーブは、出力に適用できます。また、ジョブごとにプリンタードライバーから使用するトーンカーブを指定できます。

Color Centro でトーンカーブを調整する

本書では、Color Centro を使って、トーンカーブを調整する方法を説明します。

1 Color Centro を起動します。

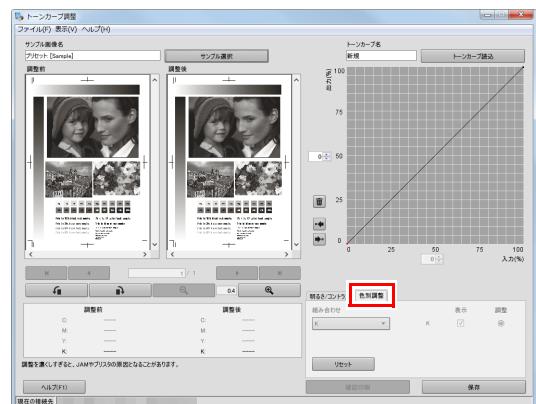
起動方法については、3-12 ページをごらんください。

2 [トーンカーブ調整] をクリックします。



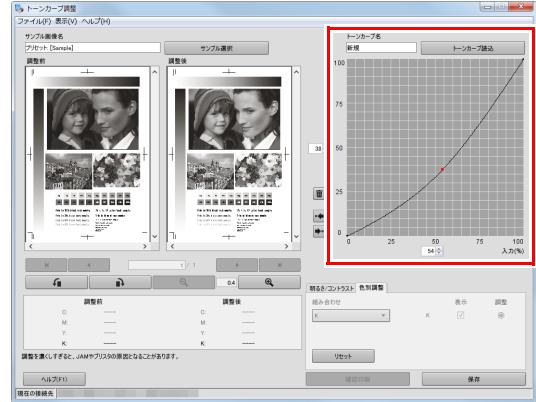
3 [色別調整] をクリックします。

- 明るさやコントラストを調整したいときは、[明るさ / コントラスト] をクリックします。
- 調整用のサンプルを変更したいときは、[サンプル選択] をクリックしてサンプルを変更できます。

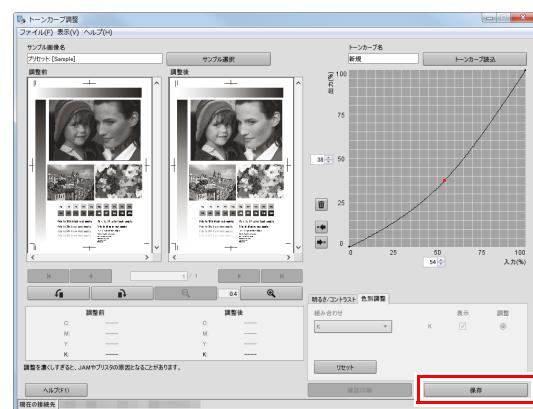


4 マウスでトーンカーブ上をクリックして、表示されたハンドル（操作点）をドラッグして調整します。

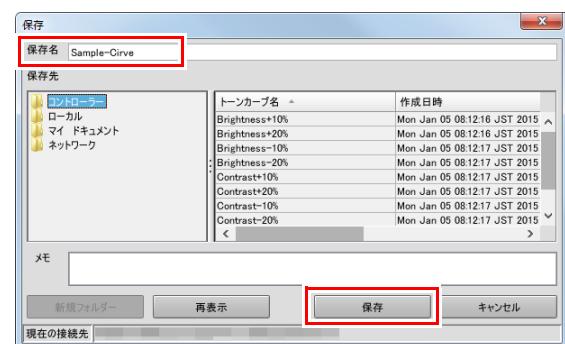
- [調整前] または [調整後] のサンプル画像を確認しながら調整します。
- 画像の表示部分をかえたいときは、スクロールバーを動かします。
- サンプル画像の下にあるボタンで、左 90 度回転 / 右 90 度回転 / 拡大 / 縮小ができます。
- 明るくする（色を薄くして軽い感じにする）：カーブを下側にへこませます。
- 暗くする（色を濃くして重めにする）：カーブを上に膨らませます。
- コントラストを上げる（濃いところを濃く、薄いところを薄くしてメリハリを高める）：S 字カーブにします。
- コントラストを下げる（濃いところを薄く、薄いところを濃くして平坦な表現にする）：逆 S 字カーブにします。



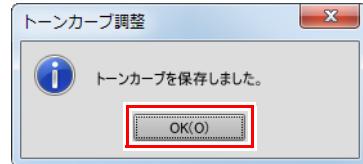
- 5 調整が終わったら、[保存] をクリックします。



- 6 調整したトーンカーブの名前を入力します。[保存先] で [コントローラー] を選択して [保存] をクリックします。
[コントローラー] を選択すると、本機のイメージコントローラーに保存されます。



- 7 保存完了のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。



- 8 [ファイル] メニューから [閉じる] を選択して画面を閉じます。

5.3 フィニッシャーの調整

調整する画面を開く

フィニッシャーやZ折りユニットを装着している場合、折り位置やステープルのとじ位置など、それぞれの機能を細かく調整できます。



フィニッシャーの調整方法の詳細については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

- 1** [機械状態] 画面の [調整] を押します。



- 2** [フィニッシャー調整] を押します。



3 調整する項目を押します。

ここに表示される項目は、装着しているフィニッシャーの種類によって異なります。

**▶ 調整できる内容**

表示される項目の例です。表示される項目は、装着しているオプションの種類によって異なります。設定方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

設定	説明
[平とじ機調整]	ステープル位置など平とじ機の動作を調整します。
[Z折りユニット調整]	パンチや折り位置などZ折りユニットの動作を調整します。

6 こんなときは

6.1 消耗品の補給と交換

▶ トナーボトルを交換する

⚠ 警告

トナーまたはトナーの入った容器（トナーカートリッジや現像ユニットなど）を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

- トナーの入った容器（トナーカートリッジや現像ユニットなど）を子供の手の届くところに放置しないでください。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
- トナーの入った容器（トナーカートリッジや現像ユニットなど）は、精密機器や記憶媒体などの磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。
- トナーの入った容器（トナーカートリッジや現像ユニットなど）は、無理に開けたりしないでください。トナーが漏出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手についた場合には、石鹼を使って水でよく洗流してください。
- トナーを吸入した場合には、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状ができるようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合には、ただちに流水で 15 分以上洗流してください。刺激が残るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲んだ場合には、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

トナーボトルにトナーがなくなると、[機械状態] 画面に [プリントできます トナーを入れて下さい] というメッセージが表示されます。

参考

トナーボトルにトナーがなくなっていても、ジョブの途中で印刷できなくなるのを防ぐため、トナー補給部にトナーを残しています。



トナー補給部のトナーもなくなると、[トナーがなくなりました トナーを入れて下さい] というメッセージが表示されます。次の手順に従って、トナーボトルを交換してください。

■ 重要

トナーボトルを交換するときは、トナーボトル補給口前面に表示されているトナータイプナンバーをご確認ください。異なるトナーボトルを使うと、故障の原因となります。

1 タッチパネル右上の [?] 、または操作パネルのヘルプを押して、ヘルプ画面を表示させます。

タッチパネルの [補給 / 廃棄部材] 表示部で黄色になっている行を押すと、直接、手順 3 の画面が開きます。



2 [補給 / 廃棄方法] を押します。



3 画面の表示に従って、トナーを交換します。

- ヘルプ画面の右側にある数字は、交換方法の手順を示しています。次のステップを表示するには、[▼] を押します。



- 使用済みのトナーを新しいトナーに替えて、梱包箱に入れてください。その後の処理は、サービス実施店にお問い合わせください。

▶ステープル針を補給する

ステープル針がなくなると、【機械状態】画面に【平じ機のスタッカーリー引き出し　ステープラーに針をセットして下さい】というメッセージが表示されて、【補給 / 廃棄部材】表示部の【ステープル針】表示が黄色に変わります。

参照

ここでは、例として、フィニッシャー FS-532 のステープラーにステープル針を補給する手順を説明します。他のステープル針の補給方法については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

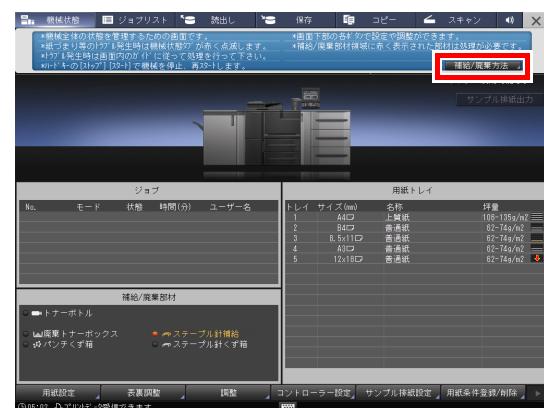


1 タッチパネル右上の **?** 、または操作パネルのヘルプを押して、ヘルプ画面を表示させます。

タッチパネルの【補給 / 廃棄部材】表示部で黄色になっている行を押すと、直接、手順 3 の画面が開きます。



2 【補給 / 廃棄方法】を押します。



- 3 該当する平とじ機の【平とじ針補給】タブを押してから、画面の表示に従って、ステープル針を交換します。

ヘルプ画面の右側にある数字は、交換方法の手順を示しています。次のステップを表示するには、[▼]を押します。



▶ 廃棄トナー ボックスを交換する

⚠ 警告

廃トナーの入った廃棄トナー ボックスは、絶対火中に投入しないでください！

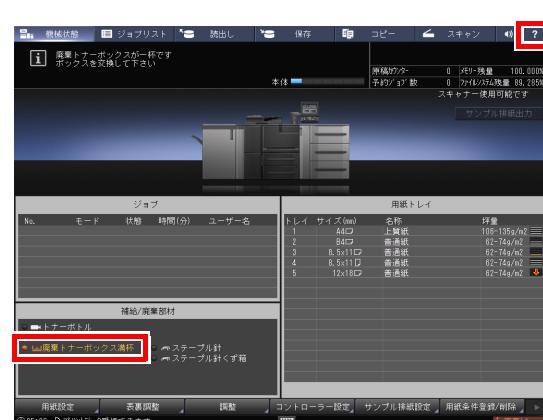
- 粉塵爆発を起こすなど、思わぬ事故になるおそれがあります。
- 廃棄トナー ボックスの処理については、サービス実施店にお問い合わせください。

廃棄トナー ボックスが廃トナーでいっぱいになると、【機械状態】画面に【廃棄トナー ボックスが一杯です ボックスを交換して下さい】というメッセージが表示されて、【補給 / 廃棄部材】表示部の【廃棄トナー ボックス】表示が黄色に変わります。



1 タッチパネル右上の ? 、または操作パネルのヘルプを押して、ヘルプ画面を表示させます。

タッチパネルの【補給 / 廃棄部材】表示部で黄色になっている行を押すと、直接、手順 3 の画面が開きます。

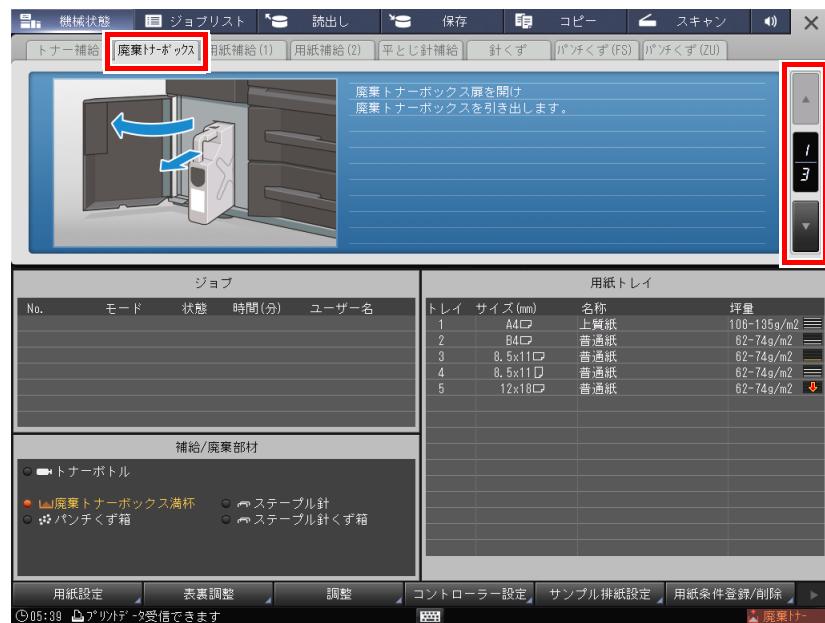


2 [補給 / 廃棄方法] を押します。



3 [廃棄トナー ボックス] タブを押してから、画面の表示に従って、廃棄トナー ボックスを交換します。

ヘルプ画面の右側にある数字は、交換方法の手順を示しています。次のステップを表示するには、[▼] を押します。



6.2 紙づまり (JAM) の処理

アニメーションガイドの見かた

本機で紙づまりが発生すると、[紙づまりです ガイドに従って用紙を取り除いて下さい] というメッセージが表示され、紙づまりが発生している位置が表示されます。

発生位置を確認して、ガイドに従って処理を行ってください。

紙づまりを処理するときに、**主電源スイッチ**を OFF にしないでください。トレイや定着搬送ユニットを引出すことができなくなります。

▶ [JAM 位置] 画面

紙づまりが発生すると、[JAM 位置] 画面に切替わり、紙づまりが発生している位置が数字で表示されます。



参考

- ・ [閉じる] を押すと、[機械状態] 画面に切替わります。
- ・ [機械状態] 画面が表示されている状態でも、紙づまりの位置が ● (赤丸) で表示されます。[詳細確認] を押すと、[JAM 位置] 画面に切替わります。



▶JAM 処理説明画面

[JAM 位置] 画面に処理方法の概要が表示されます。イラスト説明画面に切替えると、処理手順のガイドが表示されるので、作業を確認しながら対処できます。

- 1 [JAM 位置] 画面の [イラスト説明] を押します。



- 2 表示された内容を確認して、用紙を取除きます。

説明が続くときは [次頁] が表示されます。
[次頁] を押すと、次の手順を確認できます。
[JAM 位置表示] を押すと、[JAM 位置] 画面に戻ります。



- 3 ガイドの説明に従って用紙を取除きます。

[次頁] を押すと、次の手順を確認できます。
[前頁] を押すと、1つ前の手順を確認できます。



4 用紙をすべて取除いたあと、[閉じる]を押します。

[機械状態] 画面に戻ります。



 **参考**

用紙をすべて取除いても紙づまりメッセージが消えないときは、表示された紙づまり部分以外のところで、紙がつまっている場合があります。タッチパネルに表示されていない部分も、再度確認してください。特に、次の点を確認してください。

- タッチパネルに表示された番号部分の奥に紙片などが残っていないかを確認してください。うまく紙が取除けない場合は、無理に取除かないでサービス実施店にご連絡ください。
- タッチパネルに表示された番号部分のドアを再度開け閉めしてください。この動作でメッセージが消えることがあります。

確認後も紙づまりの表示が消えない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

6.3 指定した用紙がない場合

印刷時に指定した用紙サイズの用紙がトレイにセットされていない場合、[xxx サイズの用紙をセットして下さい [詳細確認] で詳細を確認できます] というメッセージが表示されます。

指定されたサイズの用紙を入れることで対処できますが、現在セットしてある異なるサイズの用紙に強制的に印刷することもできます。

▶ 指定したサイズの用紙に入替える

- 1 [機械状態] 画面の [詳細確認] を押します。



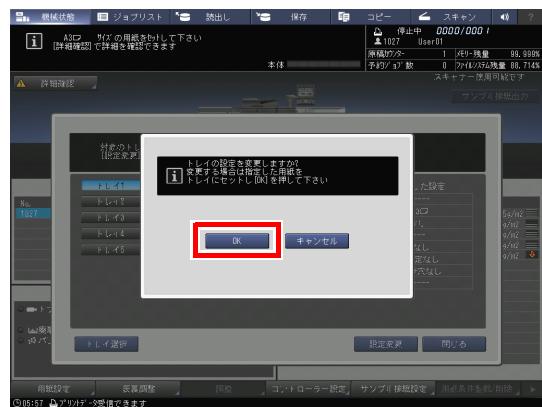
- 2 用紙を入替えるトレイを選択して、[トレイ設定変更] を押します。



- 3 [設定変更] を押します。



- 4 トレイの用紙を入替えて、[OK] を押します。



- 5 操作パネルのスタートを押します。
選択したトレイで印刷されます。



▶ セットされている用紙で強制印刷する

- 1 [機械状態] 画面の [詳細確認] を押します。



- 2 印刷する用紙がセットされているトレイを選択して、[強制出力] を押します。



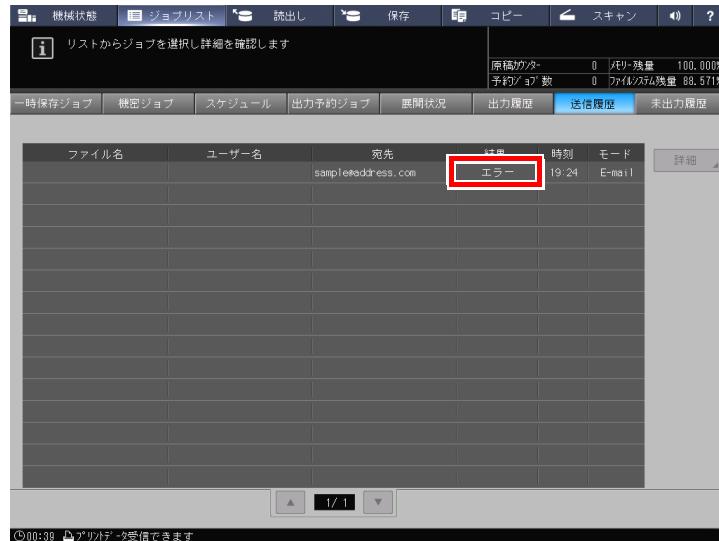
- 3 操作パネルのスタートを押します。
選択したトレイで印刷されます。



6.4 スキャンデータを送信できない

データを送信できないときは、[ジョブリスト] 画面の [送信履歴] に [エラー] と表示されます。

HDD (イメージコントローラー領域) の残量を確認してください。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーに、イメージコントローラーの IP アドレスを入力してから、[Enter] キーを押します。
PageScope Web Connection のユーザー モード画面が表示されます。
詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
- 3 [装置情報] をクリックして、[オプション] をクリックします。
- 4 [RIP 前データ / フォーム / スキャン用 HDD] の [残りサイズ] を確認します。
 - 不要になったスキャンデータを削除するには、HDD TWAIN ドライバーを使用します。詳しくは、HDD TWAIN ドライバーのユーザーズガイドをごらんください。
 - HDD (イメージコントローラー領域) に保存されたスキャンデータを、一定の時間が経過した後に、自動で削除するように設定できます。[管理者設定] - [セキュリティ設定] - [HDD 管理設定] - [保存ジョブ自動削除期間] で設定します。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
管理者パスワードの初期値は 6-15 ページをごらんください。
 - データの解像度を下げます。
画質が劣化しますので、ご注意ください。
詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
 - ページ数を減らします。
原稿を分割するか、読込む必要がないページを除いてください。



6.5 グレーのトーンが合わない場合

周囲の温度や湿度の変化、本機のコンディションの変化、用紙や印刷モードによる色調の変化などで、以前のグレーの明るさやコントラストとは異なる、期待通りの出力にならないなどの現象が発生します。

このような場合は調整が必要です。

プリンタードライバーで設定する

[スクリーン方式]、[トーンカーブ] の設定で画質を調整できます。



詳しくは、4-12 ページをごらんください。

Color Centro でトーンカーブを調整する

Color Centro の [トーンカーブ調整] を使用すると、画像全体の明るさやコントラストの調整ができます。



詳しくは、5-26 ページをごらんください。

6.6 画像位置が合わない場合

周囲の温度や湿度の変化、本機のコンディションの変化、用紙の違いや定着部の熱による影響で、用紙が若干拡大または縮小してしまい、以前に調整した画像位置がずれてしまうことがあります。

このような場合は、画像位置の調整（表裏調整）を再度行ってください。



詳しくは、5-1 ページをごらんください。

7 付録

7.1 HTML ユーザーズガイドの上手な使い方

HTML ユーザーズガイドは、本機に同梱されているユーザーズガイド CD に収められています。

トップページ（ホーム）から、ごらんになりたい項目を選択して、詳しい内容を確認してください。

トップページ（ホーム）にある【ユーザーズガイドについて】を選択すると、HTML ユーザーズガイドの詳しい使い方をごらんいただけます。



▶ (1) 検索機能を使いこなそう！

画面上部にある検索フィールドから HTML ユーザーズガイド内を検索できます。検索フィールドに検索したいキーワードを入力して、[検索] をクリックします。

参考

本書で HTML ユーザーズガイドを参照している機能などは、機能名や設定項目名を入力フィールドに入力して [検索] をクリックすれば、目的の説明を検索できます。

▶ (2) 目的の仕上りに必要な設定は、操作例で確認！

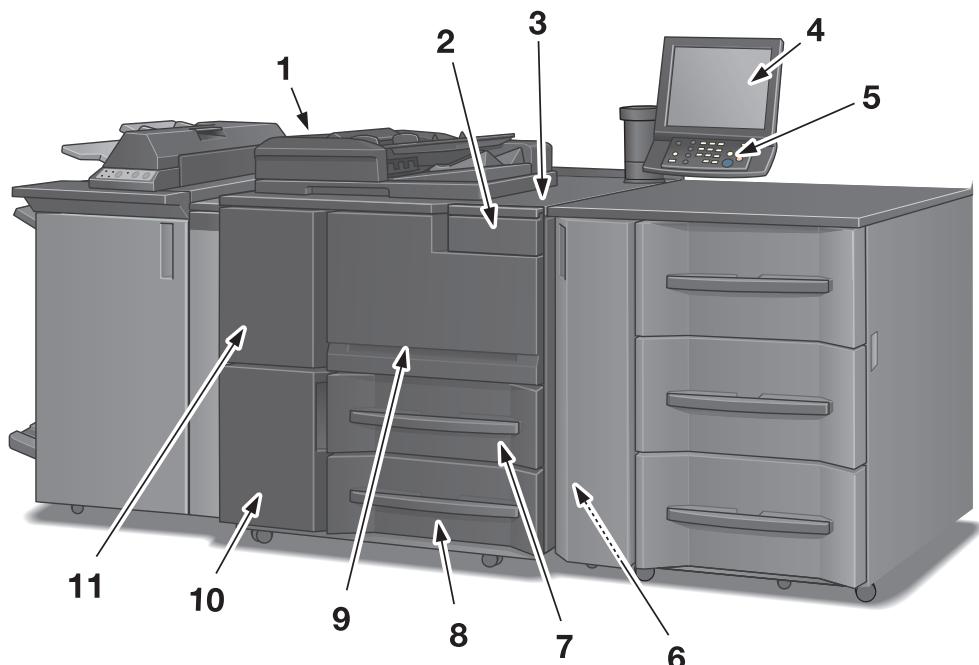
HTML ユーザーズガイドに収録されているコンテンツには、実際のワークフローに近い形で作業を進めていきながら、本機の操作方法を習得できる目的別の操作例を多数用意しています。

これらのコンテンツは、トップページ（ホーム）にある【仕上りイメージを選ぶ】、【仕上りを調整する】、【便利な機能を活用する】の各ボタンに収録されています。ぜひご活用ください。

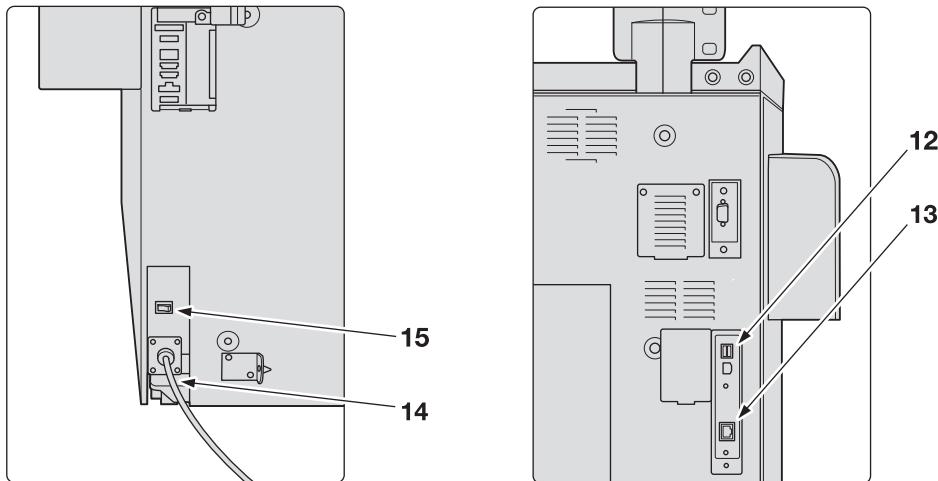


7.2 各部の名称

本体外部

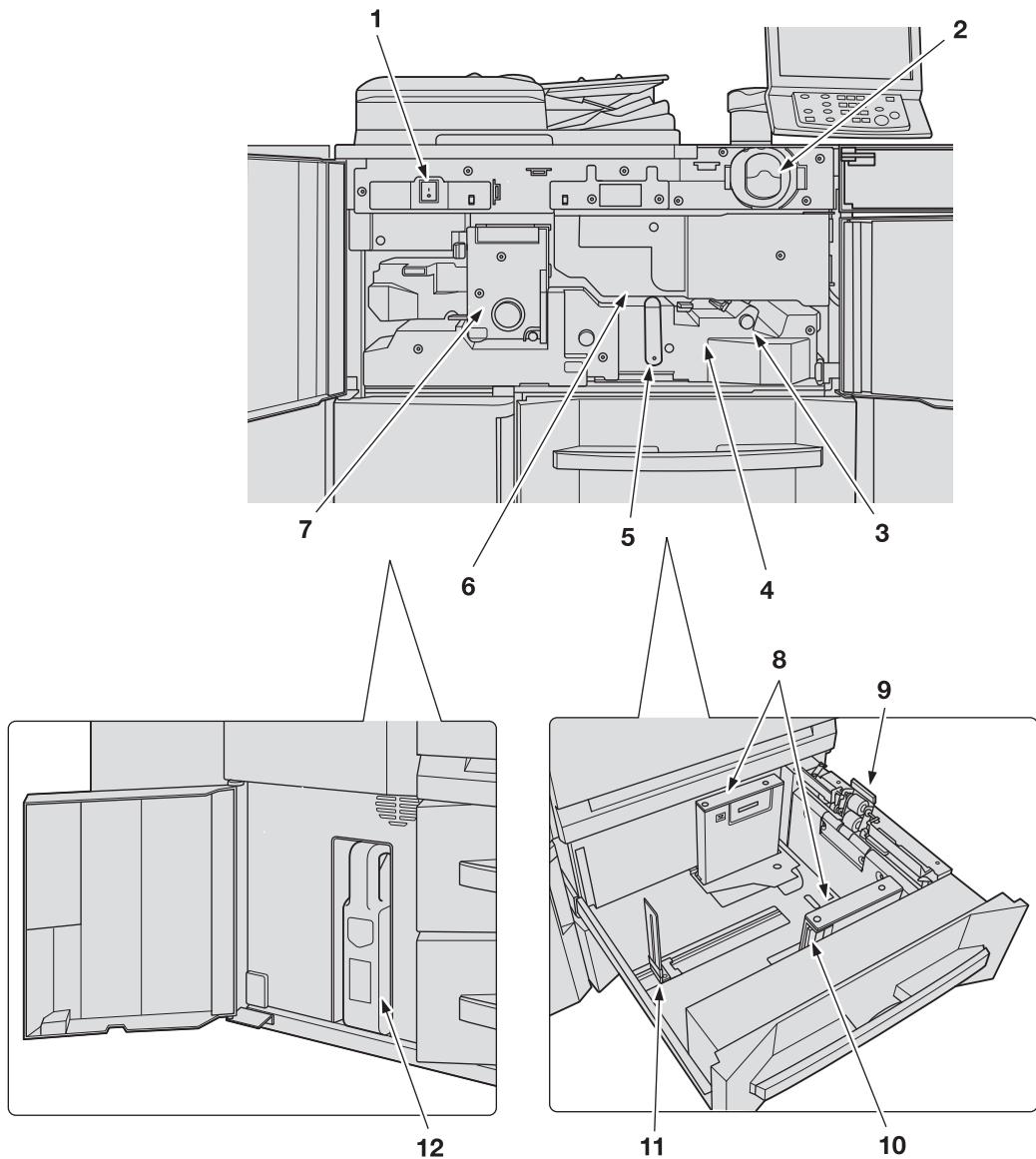


No.	名称	説明
1	ADF (自動両面原稿送り装置)	複数の原稿を自動的に 1 枚ずつ送り出して読み込むことができます。両面原稿でも反転することなく一度の通紙で読み込みます。
2	トナー補給扉	トナーを補給するとき、開いて処理します。
3	副電源スイッチ	本体の電源を ON/OFF します。
4	タッチパネル	【機械状態】画面などの画面を表示して、各操作・設定をします。また、操作のしかたやトラブルの処理方法を表示します。
5	操作パネル	各操作および設定時に押します。
6	本体右扉	紙づまりのとき、右に開いて処理します。 ペーパーフィーダーユニット PF-709、大容量給紙ユニット LU-411、または大容量給紙ユニット LU-412 を装着しているときは、それらのトレイ左扉を開いてから処理します。
7	トレイ 1	用紙を 1,600 枚 (64 g/m ² 紙) または 1,500 枚 (80 g/m ²) 収納します。
8	トレイ 2	用紙を 1,600 枚 (64 g/m ² 紙) または 1,500 枚 (80 g/m ²) 収納します。
9	本体前扉	紙づまりのとき、開けて処理します。
10	廃棄トナー ボックス交換扉	廃棄トナー ボックスを交換するとき、開いて処理します。
11	本体左扉	紙づまりのときや、主電源スイッチを OFF/ON するとき、本体前扉といっしょに開けます。



No.	名称	説明
12	サービスポート (USB 2.0 Type A × 2)	外付け記憶媒体 (USB メモリー、USB-HDD)、キーボード、マウスなどを接続するときに使用します。 この接続ポートはローパワーデバイスだけに対応しています。 大きな電源容量を必要とするデバイスは、外部から電源を供給してください。
13	ネットワーク用ポート (10Base-T、100Base-T、1000Base-T)	イーサネットケーブルを接続して本機を操作したり、ネットワークプリンター / スキャナーとして使用したりします。
14	本体電源コード	本体に電源を供給します。
15	除湿ヒータースイッチ	本機の除湿ヒーターを ON/OFF します。

本体内部



No.	名称	説明
1	主電源スイッチ	OFF/ON の切替えは、サービスエンジニアが行います。通常は OFF にしないでください。
2	トナー ボトル	本体にトナーを供給します。
3	ツマミ [M2]	紙づまりのとき、左に回して処理します。
4	定着搬送ユニット	紙づまりのとき、引出して処理します。定着搬送ユニットの各レバー やツマミについては、紙づまり時に表示される画面をごらんください。
5	レバー [M4]	紙づまりのとき、右に倒して定着搬送ユニットを引出します。
6	感光体部	画像を形成する部分です。

No.	名称	説明
7	定着部	形成された画像を用紙に定着させる部分です。
8	側面ガイド板	セットした用紙の両側面に沿わせます。
9	給紙ローラー	用紙を1枚ずつプリント装置に送込みます。
10	側面ガイドロック解除レバー	側面ガイド板を動かすとき、奥側に押してロックを解除します。
11	後端ガイド板	セットした用紙の後端面に沿わせます。
12	廃棄トナー ボックス	廃トナーを回収します。

 **警告**

廃トナーの入った廃棄トナー ボックスは、絶対火中に投入しないでください！

- 粉塵爆発を起こすなど、思わぬ事故になるおそれがあります。
- 廃棄トナー ボックスの処理については、サービス実施店にお問い合わせください。

 **注意**

定着搬送ユニット定着部に手を入れないでください！

- やけどをするおそれがあります。定着搬送ユニットを引出したり、定着部を開いたりしたときは特にご注意ください。

 **注意**

本体と定着搬送ユニットのすき間に手や腕を入れないでください！

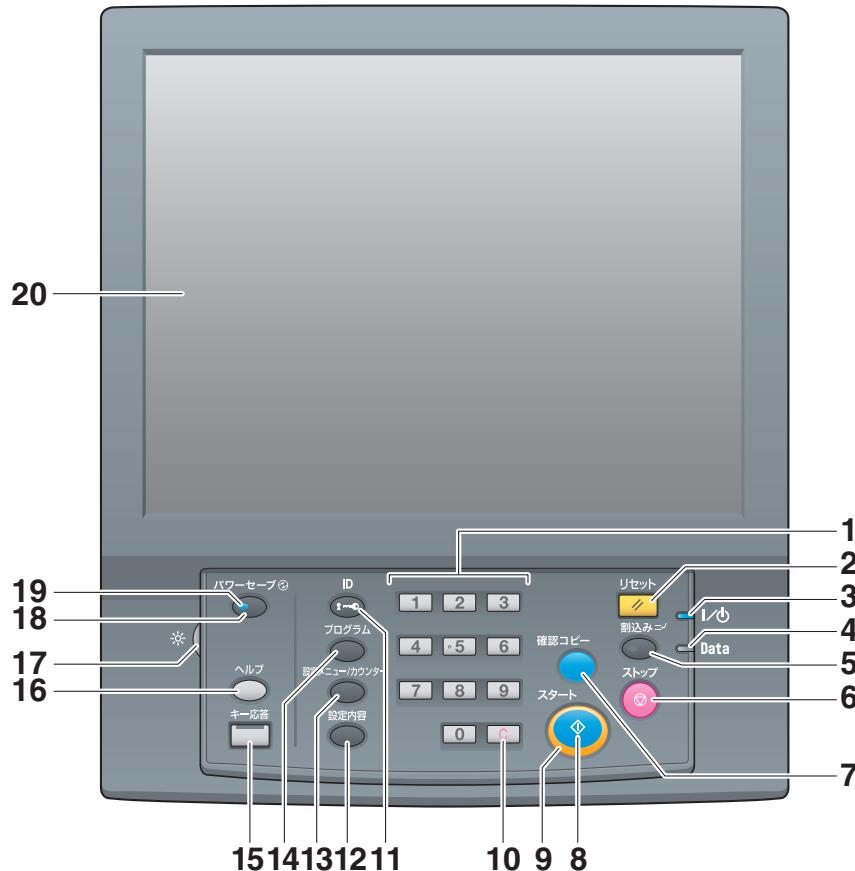
- 電気部品の接続端子などに触ると故障の原因になったり、思わぬ事故になることがあります。無理な作業はしないで、サービス実施店にご連絡ください。

 **注意**

トナー ボトルは、中身が空になって交換するとき以外は抜かないでください。

- トナー ボトルにトナーが残っている状態のときにトナー ボトルを抜くと、周辺が汚れる可能性があります。

操作パネル



No.	名称	説明
1	テンキー	数値などを入力するときに押します。
2	リセット	コピー条件を初期状態に戻すときに押します。
3	電源ランプ	主電源スイッチを入れるとオレンジ色に点灯し、副電源スイッチを入れると青色に変わります。
4	データランプ	印刷データ受信中に点滅します。
5	割込み	コピー、プリンター、スキャナー作業中、急な用件でコピーしたいときに、現在実行中の動作を中断して、コピーを優先できます。割込み可能になるまで割込みランプが点滅します。割込み可能になると割込みランプが点灯にかわります。
6	ストップ	出力を一時停止したり、機械の動作を中断したりするときに押します。
7	確認コピー	【画質調整】画面で調整した画質を確認するとき、またはジョブケット編集でサンプル出力をするときに押します。
8	スタート	各機能を開始するときに押します。
9	スタートランプ	動作開始ができるとき、青色になります。 動作開始ができないときは、オレンジ色になります。
10	C (枚数クリア)	入力した数値を変更するときに押します。

No.	名称	説明
11	ID	ユーザー認証 / 部門認証の認証を得て機械を使っていて、作業を中断するときなどに押します。ユーザー認証 / 部門認証の画面が表示され、再度認証を得ないと機械が使用できないようになります。
12	設定内容	動作中や設定されているプリントジョブの内容を確認するときに押します。
13	設定メニュー / カウンター	【設定メニュー】画面や各種カウンターを表示するときに押します。
14	プログラム	任意のコピー条件の登録や登録したコピー条件を読出すときに押します。また、直前のコピー条件を呼出すときに押します。
15	キー応答	タッチパネルのボタンや操作パネルのキーを押したときの応答時間を調整するときに押します。
16	ヘルプ	現在タッチパネルに表示されている画面の操作のしかたを説明するヘルプ画面を表示するときに押します。 【機械状態】画面を表示しているときに押すと、各種補給方法や廃棄方法を表示します。
17	輝度調整つまみ	タッチパネルの輝度調整を行うときに回します。
18	パワーセーブ	パワーセーブの状態を解除するときに押します。また、手動でパワーセーブにするときに押します。
19	パワーセーブランプ	シャットオフ / ローパワーなどのパワーセーブの状態のとき、また、ウィークリータイマーが働いて機械がOFFの状態のときに点灯します。
20	タッチパネル	機能を設定するための各種画面を表示します。

 **注意**

タッチパネルに、硬いものや先の尖ったものを当てないでください！

- 傷がついたり割れたりしてケガをすることがあります。タッチパネルは、指を使って操作してください。

 **注意**

【サービスコール】画面が表示され、出力できなくなったときは、すぐに操作を中止してください！

- 思わぬ事故になるおそれがあります。メッセージ 2 行目のレポートコードを書留めてから、副電源スイッチ、主電源スイッチの順に OFF にして、本体の電源プラグを抜きます。その後、サービス実施店に連絡して、書留めたレポートコードをお知らせください。

7.3 スキャン機能の便利な使い方 (Scan to SMB)

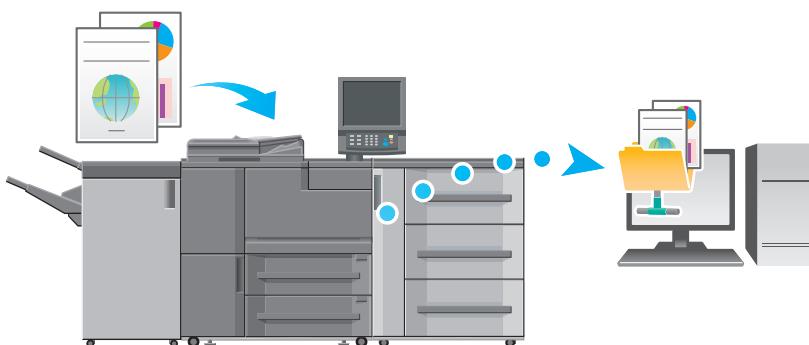
スキャンデータを E-mail に添付して送信したり、共有のコンピューター (SMB サーバー) や FTP サーバー、WebDAV サーバーに送信したり、本機に装着した USB メモリーに保存したりできます。

ここでは、SMB サーバーに送信する機能 (Scan to SMB) について記載しています。

Scan to SMB は、本機で読込んだ原稿データを、コンピューターで扱えるファイルに変換してから、コンピューター や サーバー の共有フォルダーに送信する機能です。紙原稿を電子データにして蓄積しておけます。

自分のコンピューターはもちろん、普段からファイルの受渡しに使っているファイルサーバーに送信して共有することもできます。

また、Mac OS X 10.7 以降を使用して Scan to SMB を行う場合は、設定が必要です。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。



Step 1：送信先のコンピューターを準備する

Step 1 では、次の作業を行います。

- 送信先のコンピューター名とアクセスできるユーザー名を確認します。
- 送信先のコンピューターにフォルダーを作成して、共有設定を行います。

▶ Windows をお使いの場合



この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 [システムのプロパティ] で [コンピューター名] を確認します。

- [システムのプロパティ] は、[コンピューター] を右クリックして [プロパティ] をクリックすると表示されます。
- コンピューター名は、宛先を指定するときに必要です。コンピューター名をメモしておいてください。

2 ユーザー名を確認します。

- ユーザー名が必要です。
- Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合、[すべてのプログラム] - [アクセサリ] から [コマンドプロンプト] を起動してから、「set user」と入力して [Enter] キーで確定します。
- Windows 8/8.1/Server 2012 の場合、スタート画面を右クリックして [すべてのアプリ] をクリックし、[コマンドプロンプト] を起動してから、「set user」と入力して [Enter] キーで確定します。
ドメイン名、ユーザー名が表示されます。「USERNAME =」の後の記載が、ログインユーザー名となります。
- ユーザー名は、宛先を指定するときに必要です。ユーザー名をメモしておいてください。

3 ファイル共有を有効にします。

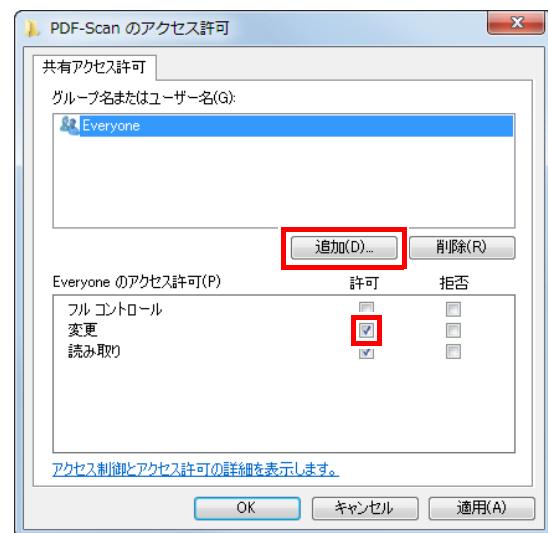
- Windows 7/8/8.1 は、[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [共有の詳細設定の変更] をクリックしてから、[共有の詳細設定] 画面で [ファイルとプリンターの共有を有効にする] をクリックします。
- Windows Vista は、[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックしてから、[共有と探索] の [ファイル共有] で、[ファイル共有を有効にする] をクリックします。

4 共有フォルダーに設定します。

共有したいフォルダーを右クリックして [プロパティ] を開いてから、[共有] タブの [詳細な共有] をクリックします。開いた画面で [このフォルダーを共有する] にチェックを付けます。

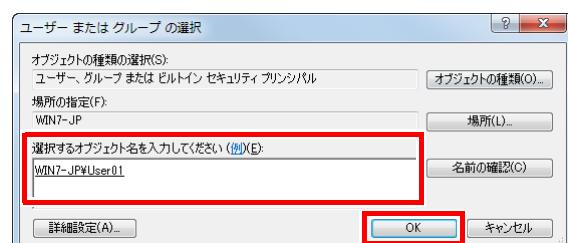
5 [アクセス許可] を設定します。

[詳細な共有] 画面で [アクセス許可] をクリックしてから、[グループ名またはユーザー名] で [Everyone] を選択してアクセス許可の [変更] を許可にします。



6 アクセス許可するユーザーを追加します。

[アクセス許可] 画面の [追加] をクリックして [ユーザーまたはグループの選択] を開いてから、[選択するオブジェクト名を入力してください] の欄に「コンピューター名 (またはドメイン名) \ユーザー名」を入力して、[名前の確認] をクリックします。ユーザー名に下線が表示されたら [OK] をクリックします。



7 手順 6 で追加したユーザー名を選択してアクセス許可の [変更] を許可にし、[OK] をクリックします。

▶Macintoshをお使いの場合



この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

- 1** [この Mac について] の [詳しい情報] で [IP アドレス] と [ユーザー名] を確認します。
- 2** ファイル共有を有効にします。
アップルメニューから [システム環境設定] の [共有] をクリックして [共有] 画面を開いてから、[ファイル共有] にチェックを付けます。
- 3** SMB による共有を有効にします。
[共有] 画面で [オプション] をクリックして、[SMB(Windows) を使用してファイルやフォルダを共有] にチェックを付けてから、ログインしているユーザー名(表示名)にチェックを付けます。
- 4** 共有フォルダーに設定します。
[共有] 画面で [+] をクリックして、共有したいフォルダーを選択して [追加] します。このとき、フォルダーのユーザー名とアクセス権が [読み / 書き] になっていることを確認します。

Step 2：本機をネットワークに接続する

本機をネットワークに接続するには、次の確認を行ってください。

- LAN ケーブルの接続を確認します。
- 本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。



ネットワーク設定は、[管理者設定] - [ネットワーク設定] - [NIC 設定] で設定できます。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

管理者パスワードの初期値は 6-15 ページをごらんください。

Step 3：SMB 送信の使用環境を準備する

SMB 送信機能を有効にします。

- 本機の [SMB 送信設定] を [有効] にします(通常は、初期設定の状態でお使いいただけます)。
- また、Mac OS X 10.7 以降を使用する場合、以下の設定が必要です。
 - NTLM 設定
NTLM 設定は、v2のみ対応しています。NTLM v2 を含む項目を設定します。
 - 本機とコンピューターの日時設定
タイムゾーンを含め、日時を設定します。



各種設定について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

Step 4：お使いの環境に合わせて設定する

よく送信する宛先を登録します。

- 宛先を手動で入力する手順を省けます。
- 本機の [スキャン] 画面で SMB サーバーを登録します。
- [設定メニュー] 画面の [スキャン宛先登録] でも登録できます。



宛先登録について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

Step 5：スキャンデータを共有フォルダーに送信する

登録した SMB サーバーの共有フォルダーに、スキャンデータを送信します。

本機の【スキャン】画面で SMB の宛先を選択してから、読み込み条件を設定してスタートを押します。



画質や読み込みサイズなどを設定できます。読み込み条件について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

7.4 主な仕様

■ 重要

本体やオプションの製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

オプションで対応している用紙サイズや坪量であっても、本体を含むシステム全体として対応していない場合は、ご使用できないことがあります。

本体

仕様	
動作環境条件	温度 10 °C ~ 30 °C 湿度 10%RH ~ 80%RH
本体トレイ	用紙サイズ 定形サイズ：SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、 郵政はがき *、12 × 18 □、11 × 17 □、9 × 11 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、 8 × 13 □、5.5 × 8.5 □、8K □、16K □/□ 不定形サイズ：タテ 182 mm ~ 324 mm、ヨコ 139 mm ~ 463 mm インデックス紙：A4T □/□、8.5 × 11T □/□ * オプションのはがきキットを装着すると給紙できます。 本機で使用できる用紙サイズについて詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
	用紙坪量 上質紙、普通紙、書籍用紙、ラフ紙、未印字挿入紙：40 g/m ² ~ 300 g/m ² (両面：50 g/m ² ~ 300 g/m ²) ただし、書籍用紙、ラフ紙は 216 g/m ² 以下を推奨。
	給紙容量 トレイ 1 (上段)、トレイ 2 (下段)：各 1,600 枚 (64 g/m ²)、各 1,500 枚 (80 g/m ²)

ADF (自動両面原稿送り装置)

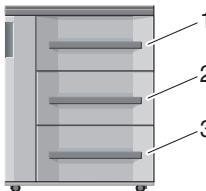
仕様	
原稿種類	・ 薄紙 片面原稿：35 g/m ² ~ 49 g/m ² ・ 普通紙 片面原稿：50 g/m ² ~ 210 g/m ² 両面原稿：50 g/m ² ~ 210 g/m ² 混載原稿：50 g/m ² ~ 128 g/m ²
原稿サイズ	定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、A6 □、郵政 はがき □、11 × 17 □、8.5 × 11 □ /□、5.5 × 8.5 □/□、8 × 13 □、8K □、16K □/□
原稿積載量	180 枚 (64 g/m ² 紙)、150 枚 (80 g/m ² 紙)

給紙系オプション

参照

用紙サイズや用紙坪量は、設定や仕上りなどの条件によって変わります。詳しい条件や仕様については、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

▶ ペーパーフィーダーユニット PF-709

給紙トレイ	
	
1 : トレイ 3 (上段)	
2 : トレイ 4 (中段)	
3 : トレイ 5 (下段)	

仕様	
用紙坪量	40 g/m ² ~ 350 g/m ² 301 g/m ² ~ 350 g/m ² はトレイ 4 (中段) から給紙可。
用紙サイズ	定形サイズ : SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、郵政はがき □、12 × 18 □、11 × 17 □、9 × 11 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □、8.5 × 13 □、8K □、16K □/□ 不定形サイズ : タテ 182 mm ~ 324 mm、ヨコ 139 mm ~ 463 mm 小サイズガイド使用時 : 最小タテ 95 mm、ヨコ 139 mm インデックス紙 : A4T □、8.5 × 11T □ 本機で使用できる用紙サイズについて詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
給紙容量	トレイ 3 (上段)、トレイ 4 (中段)、トレイ 5 (下段) : 各 2,000 枚 (80 g/m ² 、積載高さ 217 mm)

▶ 大容量給紙ユニット LU-411

給紙トレイ	
	

仕様	
用紙坪量	40 g/m ² ~ 300 g/m ²
用紙サイズ	定形サイズ : A4 □、B5 □、8.5 × 11 □、9 × 11 □、16K □ 不定形サイズ : タテ 250 mm ~ 314 mm、ヨコ 176 mm ~ 229 mm インデックス紙 : A4T □、8.5×11T □ 本機で使用できる用紙サイズについて詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
給紙容量	4,500 枚 (80 g/m ²)

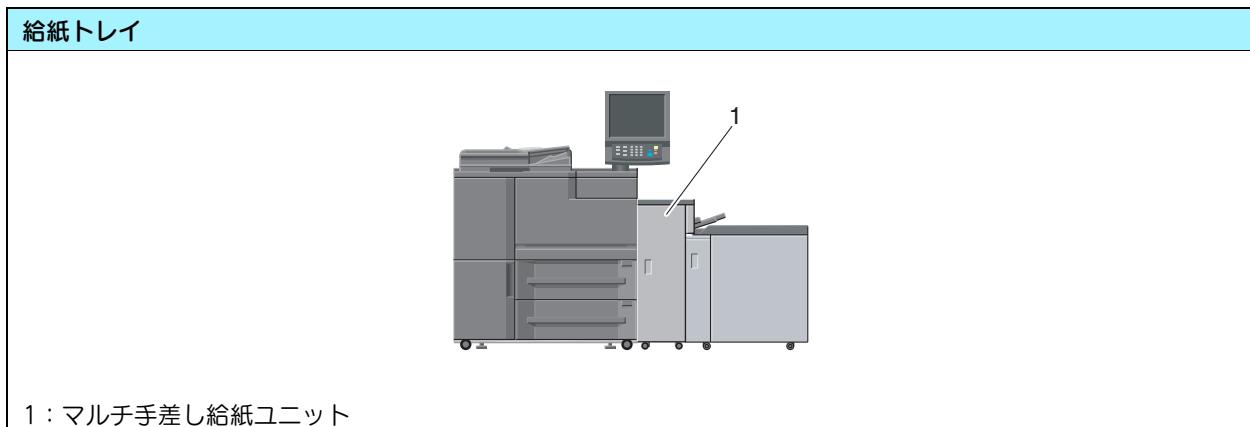
▶ 大容量給紙ユニット LU-412

給紙トレイ	
	

仕様	
用紙坪量	40 g/m ² ~ 300 g/m ²
用紙サイズ	定形サイズ : SRA3 □、A3 □、B4 □、A4 □/□、SRA4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □、8 × 13 □、8K □ 不定形サイズ : タテ 203 mm ~ 324 mm、ヨコ 195 mm ~ 483 mm インデックス紙 : A4T □、8.5 × 11T □ 本機で使用できる用紙サイズについて詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
給紙容量	4,000 枚 (80 g/m ²)

▶ マルチ手差し給紙ユニット MB-507

マルチ手差し給紙ユニット MB-507 は、大容量給紙ユニット LU-411 または大容量給紙ユニット LU-412 に取付けて使用します。ペーパーフィーダーユニットと組合わせての使用はできません。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

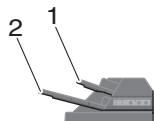


仕様	
用紙坪量	40 g/m ² ~ 300 g/m ²
用紙サイズ	定形サイズ : SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、郵政はがき □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、9 × 11 □、8.5 × 11 □/□、8 × 13 □、5.5 × 8.5 □、8K □、16K □/□ 不定形サイズ : タテ 100 mm ~ 324 mm、ヨコ 148 mm ~ 483 mm インデックス紙 : A4T □、8.5 × 11T □ 本機で使用できる用紙サイズについて詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。
給紙容量	手差し皿 : 250 枚 (80 g/m ² 紙換算、積載高さ : 27.5 mm)

▶ ポストインサーター PI-502

ポストインサーター PI-502 は、フィニッシャー FS-532 に取付けて使用します。ポストインサーター PI-502 の上段トレイ、下段トレイに用紙をセットして排紙系オプションに給紙できます。また、ポストインサーター PI-502 の操作パネルでは、下段トレイから給紙する用紙のパンチやステープル、折り機能を設定できます。詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

給紙トレイ



1: 上段トレイ
2: 下段トレイ

仕様

用紙坪量	50 g/m ² ~ 300 g/m ²	
用紙サイズ	上段トレイ	定形サイズ: A4 □/□、B5 □/□、A5 □、8.5 × 11 □/□、7.25 × 10.5 □、5.5 × 8.5 □、16K □/□ 不定形サイズ: タテ 182 mm ~ 331 mm、ヨコ 139 mm ~ 297 mm
	下段トレイ	定形サイズ: A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、7.25 × 10.5 □/□、5.5 × 8.5 □、Foolscap、8K □、16K □/□ 不定形サイズ: タテ 182 mm ~ 331 mm、ヨコ 139 mm ~ 488 mm * Foolscap は、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8.12 × 13.25 □、8 × 13 □ のサイズを指します。
給紙容量	上段トレイ、下段トレイとも 200 枚 (80 g/m ²) または、高さ 30 mm 以内	

排紙系オプション

参照

用紙サイズや用紙坪量は、設定や仕上りなどの条件によって変わります。詳しい条件や仕様については、HTMLユーザーズガイドをごらんください。

▶ フィニッシャー FS-532

パンチ機能には、パンチキット PK-522 が必要です。

重ね中折り機能、重ね三つ折り機能、中とじ機能には、中とじ機 SD-510 が必要です。

排紙トレイ	機能		
<p>1: メイントレイ 2: サブトレイ</p>	平とじ		パンチ
	重ね中折り		重ね三つ折り

仕様：ストレート排紙	
用紙坪量	40 g/m ² ~ 350 g/m ²
用紙サイズ	メイントレイ / サブトレイ 定形サイズ：SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □/□、A4 □/□、B5 □/□、 A5□/□、B6 □、A6 □、郵政はがき □、13 × 19 □、12 × 18 □、11 × 17 □、 9 × 11 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、7.25 × 10.5 □/□、5.5 × 8.5 □/□、 Foolscap*、8K □、16K □/□ 不定形サイズ：タテ 95 mm ~ 331 mm、ヨコ 133 mm ~ 488 mm インデックス紙：A4T □、8.5 × 11T □ ストレート排紙のみ：13 × 19 □、5.5 × 8.5 □、B6 □ * Foolscap は、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8.12 × 13.25 □、8 × 13 □ のサ イズを指します。
用紙枚数目安	メイントレイ • 2,000 枚：大サイズ (A3 □、B4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、 8 × 13 □、SRA3 □、SRA4 □、13 × 19 □、8K □) • 4,200 枚 *：小サイズ (A4 □/□、B5 □/□、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □、16K □/□) • 750 枚：特小サイズ (A5 □、5.5 × 8.5 □/□) サブトレイ 300 枚 (80 g/m ²) * 中とじ機 SD-510 装着時は、3,000 枚です。

仕様：平とじ						
用紙坪量	50 g/m ² ~ 300 g/m ²					
用紙サイズ	メイントレイ 定形サイズ：SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □/□、A4 □/□、B5 □、A5 □、 13×19 □、 12×18 □、 11×17 □、 9×11 □、 8.5×14 □、 8.5×11 □/□、 7.25×10.5 □、 5.5×8.5 □、Foolscap ^{*1} 、8K □、16K □/□ 不定形サイズ：タテ 203 mm ~ 331 mm ^{*2} 、ヨコ 139 mm ~ 488 mm インデックス紙：A4T □、 $8.5 \times 11T$ □ ^{*1} Foolscap は、 8.5×13 □、 8.25×13 □、 8.12×13.25 □、 8×13 □ の サイズを指します。 ^{*2} 奥コーナー平行ステープルは、最大タテ 320 mm です。					
最大平とじ枚数	坪量	普通紙		上質紙		
		長さ 400 mm 未満	長さ 400 mm 以上	長さ 320 mm 以下	321 mm ~ 399 mm	長さ 400 mm 以上
	50 g/m ² ~ 74 g/m ²	100	50	50	20	-
	75 g/m ² ~ 80 g/m ²	100	50	30	30	30
	81 g/m ² ~ 91 g/m ²	60	50	30	30	30
	92 g/m ² ~ 135 g/m ²	50	50	30	30	30
	136 g/m ² ~ 162 g/m ²	40	40	30	30	30
	163 g/m ² ~ 216 g/m ²	25	25	25	25	25
収納部数	217 g/m ² ~ 256 g/m ²	25	25	25	25	15
	257 g/m ² ~ 300 g/m ²	10	10	10	10	10

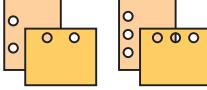
仕様：パンチ（パンチキットPK-522 装着時）	
穴数	2穴
穴径	6.5 mm
穴ピッチ	80.0 mm ± 1 mm
用紙坪量	60 g/m ² ~ 300 g/m ²
用紙サイズ	定形サイズ：A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、 11 × 17 □、9 × 11 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □/□、8K □、 16K □/□、Foolscap* * Foolscap は、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8.12 × 13.25 □、8 × 13 □のサ イズを指します。

仕様：中とじ（中とじ機 SD-510 装着時）	
用紙坪量	50 g/m ² ~ 216 g/m ² (表紙：50 g/m ² ~ 300 g/m ²)
用紙サイズ	定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □、 12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、8K □ 不定形サイズ：タテ 120.0 mm ~ 331.0 mm、ヨコ 240.0 mm ~ 488.0 mm
用紙枚数	最大中とじ枚数 50 g/m ² ~ 61 g/m ² : 25 枚 62 g/m ² ~ 80 g/m ² : 20 枚 81 g/m ² ~ 91 g/m ² : 16 枚 92 g/m ² ~ 216 g/m ² : 5 枚 * 坪量 217 g/m ² 以上は表紙 1 枚のみ。

仕様：重ね中折り / 重ね三つ折り（中とじ機 SD-510 装着時）	
用紙坪量	重ね中折り : 50 g/m ² ~ 216 g/m ² (表紙 : 50 g/m ² ~ 300 g/m ²) 重ね三つ折り : 50 g/m ² ~ 105 g/m ²
用紙サイズ	・ 重ね中折り 定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □、 12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、8K □ 不定形サイズ：タテ 120.0 mm ~ 331.0 mm、ヨコ 240.0 mm ~ 488.0 mm ・ 重ね三つ折り 定形サイズ：A4 □、8.5 × 11 □、16K □
用紙枚数	最大重ね枚数 ・ 重ね中折り 50 g/m ² ~ 216 g/m ² : 5 枚 217 g/m ² ~ 300 g/m ² : 1 枚 ・ 重ね三つ折り 50 g/m ² ~ 91 g/m ² : 3 枚 92 g/m ² ~ 105 g/m ² : 1 枚

▶Z 折りユニット ZU-608

Z 折りユニット ZU-608 は、フィニッシャー FS-532 に取付けて使用します。

排紙トレイ	機能	パンチ
 1: メイントレイ 2: 折りトレイ	Z 折り	 

仕様：ストレート排紙	
用紙坪量	40 g/m ² ~ 350 g/m ²
用紙サイズ	タテ 95.0 mm ~ 331.0 mm、ヨコ 139.0 mm ~ 483.0 mm フィニッシャー FS-532 で使用できる用紙は通紙できます。

仕様：Z 折り	
用紙坪量	60 g/m ² ~ 91 g/m ²
用紙サイズ	A3 □、B4 □
Z 折り禁止用紙	折りに不適切な用紙、薄紙、厚紙、腰弱紙（クラシックホワイト紙、リサイクル紙、X-ST 紙など）

仕様：パンチ	
穴数	2 穴
穴径	6.5 ± 0.5 mm (2 穴)
穴ピッチ	80.0 ± 0.5 mm (2 穴)
用紙坪量	60 g/m ² ~ 91 g/m ²
用紙サイズ	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、Foolscap*、SRA4 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □/□、9 × 11 □、7.25 × 10.5 □/□、8K □、16K □/□
	* Foolscap は、8.5 × 13 □、8.25 × 13 □、8.12 × 13.25 □、8 × 13 □ のサイズを指します。

電子系オプション

参照

記載以外のオプションについては、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

▶ リムーバブルハードディスクキット RH-101

仕様	
機能	<p>本体用 HDD を取り出し、付属のインナーケースに取付けて、リムーバブル HDD として利用できます。</p> <p>HDD を本体から切離して保管できるため、セキュリティーが向上します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> インナーケース挿抜時は、本体の主電源スイッチを OFF にします。 HDD は同一の機械でだけ使用できます。他の機械への取付けはできません。 このオプションを使用すると、本体のセキュリティー強化モードは使用できません。

▶ ハードディスクインナーケースキット HD-523

仕様	
適用対象	リムーバブルハードディスクキット RH-101
機能	本機で複数の HDD を切替えて使用できます。

▶ 認証装置 AU-201

仕様	
機能	非接触 IC カード読取り式ユーザー認証装置
適用カード	FeliCa、TypeA、FCF、FCF キャンバス、SSFC

▶ 認証装置 AU-201S

仕様	
機能	非接触 IC カード読取り式ユーザー認証装置
適用カード	FeliCa、TypeA、FCF、FCF キャンバス、SSFC

7.5 サイズ別斤量

重要

製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

▶ サイズ別斤量

用紙の厚みを表す単位として、坪量 (g/m^2) と連量 (kg) があり、製紙メーカーによって使われている単位が異なります。

単位とは

- 坪量 (g/m^2) : 1 m^2 の用紙 1 枚の質量をグラムで表した単位
- 連量 (kg) : 所定サイズの用紙 1,000 枚の質量をキログラムで表した単位

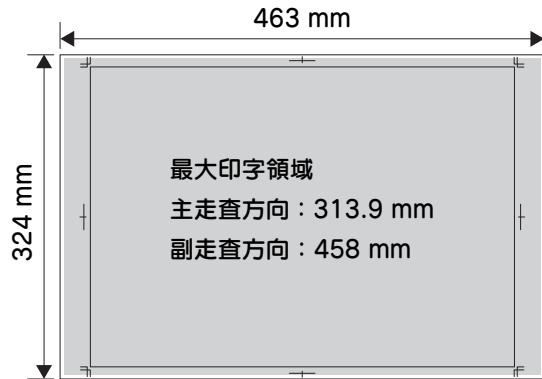
機械の設定では、基本的に坪量を使っています。坪量からそれぞれの判型への連量換算は、次の表を参考にしてください。

坪量 (g/m^2)	A 列本判 (kg)	B 列本判 (kg)	四六判 (kg)	菊判 (kg)
40-49	22-27	33-40.5	34.5-42	24-29
50-61	27.5-33.5	41-50.5	42.5-52.5	29.5-36.5
62-74	34-40.5	51-61.5	53-63.5	37-44
75-91	41-50	62-75.5	64-78	44.5-54.5
92-135	50.5-74	76-112	78.5-116	55-80.5
136-162	74.5-89	112.5-134.5	116.5-139	81-96.5
163-216	89.5-119	135-179	139.5-185.5	97-129
217-244	119.5-134	179.5-202.5	186-209.5	129.5-145.5
245-300	134.5-165	203-249	210-258	146-179
301-350	165.5-192.5	249.5-290.5	258.5-301	179.5-209

7.6 最大用紙サイズと印字領域

お使いいただける最大用紙サイズと印字領域は、次の通りです。出力や面付け時の参考にしてください。

本体トレイ：



その他の給紙トレイについては、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものとお取替えいたします。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ株式会社